

Ⅳ 市民会館・公民館の状況

1. 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化的活動に対応しつつ、教育機関としての機能も果たしていく施設として、昭和52年6月に開館した。

福生市民会館・公民館 福生市福生2455 電話 52-1711

敷地面積 4,937.07㎡

建築延面積 6,771.25㎡

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

職 員 12人

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

(1) 松林分館 福生市武蔵野台1-15-1 電話 52-3624

敷地面積 1,104.98㎡

建築延面積 5,643.0㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

(2) 白梅分館 福生市熊川559-1 電話 53-3454

敷地面積 2,158.03㎡

建築延面積 5,705.9㎡

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

2. 市民会館・公民館の利用状況

月 別 施 設 名			4			5			6			7			8			9			10			11			12			3年1			2			3			合 計		
			有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数			
市 民 会 館	ホ ー ル	大 ホ ー ル	回 25	回	回 25	回 21	回	回 21	回 30	回	回 30	回 30	回	回 30	回 5	回	回 5	回 38	回	回 38	回 27	回	回 27	回 54	回	回 54	回 25	回	回 25	回 8	回	回 8	回 23	回	回 23	回 36	回	回 36	回 322	回	回 322
		小 ホ ー ル	19		19	20		20	15		15	49		49	17		17	25		25	33		33	22		22	25		25	15		15	20		20	33		33	293		293
		小 計	44		44	41		41	45		45	79		79	22		22	63		63	60		60	76		76	50		50	23		23	43		43	69		69	615		615
	集 会 室 等	リハーサル室	9	18	27	2	22	24	0	20	20	3	23	26	3	6	9	3	27	30	15	22	37	0	46	46	7	15	22	0	20	20	5	11	16	11	17	28	58	247	305
		第1集会室	12	34	46	12	18	30	11	26	37	8	41	49	8	16	24	7	35	42	10	28	38	2	46	48	11	26	37	3	28	31	2	33	35	4	47	51	90	378	468
		第2集会室	5	46	51	8	36	44	6	47	53	4	52	56	7	31	38	7	42	49	14	45	59	4	52	56	10	30	40	3	39	42	2	50	52	10	53	63	80	523	603
		第3集会室	2	40	42	2	35	37	7	41	48	5	51	56	4	38	42	7	55	62	2	52	54	3	57	60	1	42	43	1	42	43	4	52	56	4	50	54	42	555	597
		第4集会室	8	28	36	10	35	45	9	40	49	11	35	46	6	22	28	10	46	56	3	53	56	2	51	53	6	31	37	7	31	38	11	35	46	10	38	48	93	445	538
		第5集会室	3	28	31	7	28	35	7	31	38	8	32	40	3	31	34	4	45	49	3	38	41	0	49	49	7	31	38	4	21	25	9	29	38	7	42	49	62	405	467
		第6集会室	11	34	45	3	37	40	3	51	54	2	51	53	0	30	30	5	48	53	10	48	58	4	58	62	8	36	44	8	31	39	5	47	52	17	44	61	76	515	591
		第7集会室	11	33	44	3	37	40	3	51	54	2	49	51	0	28	28	5	47	52	10	47	57	2	58	60	10	36	46	6	31	37	3	44	47	15	42	57	70	503	573
		第8集会室	8	6	14	9	7	16	10	8	18	8	11	19	13	2	15	6	21	27	11	20	31	5	37	42	13	12	25	6	10	16	7	24	31	10	25	35	106	183	289
		展 示 室	0	1	1	0	18	18	0	20	20	0	9	9	1	15	16	3	0	3	0	0	0	0	21	21	0	25	25	0	0	0	0	2	2	11	26	37	15	137	152
		小 計	69	268	337	56	273	329	56	335	391	51	354	405	45	219	264	57	366	423	78	353	431	22	475	497	73	284	357	38	253	291	48	327	375	99	384	483	692	3,891	4,583
	計	113	268	381	97	273	370	101	335	436	130	354	484	67	219	286	120	366	486	138	353	431	98	475	573	123	284	407	61	253	314	91	327	418	168	384	552	1,307	3,891	5,198	
公 民 館	調 理 室	9	25	34	11	31	42	9	32	41	7	32	39	5	19	24	10	34	44	7	35	42	14	37	51	5	20	25	3	19	22	5	30	35	5	46	51	90	360	450	
	美 術 室	1	15	16	0	20	20	1	35	36	0	29	29	0	16	16	3	23	26	0	28	28	0	43	43	0	24	24	0	27	27	0	35	35	0	48	48	5	343	348	
	音 楽 室	1	24	25	0	24	24	0	31	31	3	27	30	2	39	41	5	28	33	1	29	30	2	37	39	0	26	26	1	34	35	2	36	38	0	44	44	17	379	396	
	視 聴 覚 室	0	27	27	0	27	27	0	50	50	2	22	24	0	31	31	0	36	36	1	30	31	2	40	42	2	26	28	0	27	27	2	39	41	1	41	42	10	396	406	
	児 童 室	0	18	18	1	28	29	0	36	36	0	35	35	0	12	12	0	29	29	0	32	32	0	49	49	3	29	32	0	33	33	0	29	29	0	37	37	4	367	371	
	計	11	109	120	12	130	142	10	184	194	12	145	157	7	117	124	18	150	168	9	154	163	18	206	224	10	125	135	4	140	144	9	169	178	6	216	222	126	1,845	1,971	
合 計			124	377	501	109	403	512	111	519	630	142	499	641	74	336	410	138	516	654	147	507	654	116	681	797	133	409	542	65	393	458	100	496	596	174	600	774	1,433	5,736	7,169

松 林 会 館 利 用 状 況

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
主 催 事 業	件 数	9	8	29	39	42	43	44	25	17	18	23	33	330
	人 数	81	57	392	641	681	654	2,180	358	151	150	258	412	6,015
住 民 の 社会教育活動	件 数	112	109	81	134	89	115	119	120	112	91	131	118	1,331
	人 数	1,351	1,418	1,658	1,817	1,109	1,565	1,577	1,436	1,516	1,168	1,632	1,398	17,645
公 共 的 団 体	件 数	1	3	1	6	1	2	1	1	2	2	3	3	26
	人 数	15	97	13	99	40	65	100	45	46	92	67	37	716
政 治 宗 教 団 体	件 数	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	2	1	8
	人 数	0	0	0	10	44	6	0	0	0	50	45	15	170
企 業	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	件 数	10	9	9	12	9	7	9	5	10	5	5	13	103
	人 数	145	149	120	155	144	162	193	65	248	79	75	270	1,805
計	件 数	132	129	120	192	143	168	173	151	141	117	164	168	1,798
	人 数	1,592	1,721	2,183	2,722	2,018	2,452	4,050	1,904	1,961	1,539	2,077	2,132	26,351

白 梅 会 館 利 用 状 況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
主 催 事 業	件 数	3	21	13	11	11	19	19	16	33	12	9	10	177
	人 数	44	706	210	151	238	248	241	201	337	152	141	112	2,781
住 民 の 社会教育活動	件 数	170	134	152	162	134	158	190	169	137	107	164	175	1,852
	人 数	2,381	1,727	2,261	2,515	1,947	2,003	2,429	2,404	2,293	1,836	2,579	2,999	27,374
公 共 的 団 体	件 数	0	0	0	0	14	5	13	18	0	0	0	5	55
	人 数	0	0	0	0	28	94	54	50	0	0	0	13	239
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	0	3	2	0	0	3	0	0	2	9	5	24
	人 数	0	0	30	20	0	0	40	0	0	20	90	10	210
企 業	件 数	3	0	1	1	0	1	2	3	0	1	4	9	25
	人 数	102	0	6	10	0	10	80	22	0	7	61	39	337
そ の 他	件 数	10	11	6	4	9	14	9	7	10	12	2	4	98
	人 数	100	106	30	45	66	176	102	75	92	120	14	24	950
合 計	件 数	186	166	175	180	168	197	236	213	180	134	188	208	2,231
	人 数	2,627	2,539	2,537	2,741	2,279	2,531	2,946	2,752	2,722	2,135	2,885	3,197	31,891

3. 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する機関である。この制度は社会教育法上必置制となっており、当市の場合任期2年、定数10名で構成される。本年10月に任期満了による改選があったが、東京都公民館連絡協議会等との任期を合わせるために、この任期を平成3年3月末までの半年とし、平成3年4月に改選が再度行われた。

本年度の審議内容は次のとおりである。

- 第1回 平成2年4月16日(月) 公民館本館
 - *平成2年度上半期主催事業について
 - *その他
- 第2回 平成2年5月21日(月) 公民館本館
 - *公民館運営審議会引継ぎ事項について
 - *その他
- 第3回 平成2年6月18日(月) 松林分館
 - *公民館運営審議会引継ぎ事項について
 - *その他
- 第4回 平成2年7月23日(月) 公民館本館
 - *公民館運営審議会引継ぎ事項について
 - *保谷市公民館視察報告書について
 - *その他
- 第5回 平成2年8月20日(月) 白梅分館
 - *公民館運営審議会引継ぎ事項について
 - *保谷市公民館視察報告書について
 - *その他
- 第6回 平成2年9月17日(月) 松林分館
 - *公民館運営審議会引継ぎ事項について
 - *公民館視察報告書について
 - *その他
- 第7回 平成2年10月18日(木) 公民館本館
 - *委嘱状の交付

*正副委員長の互選について

委員長 杉山 行男氏

副委員長 秋山 典子氏

*その他

第8回 平成2年11月22日(木) 松林分館

*平成2年度下半期公民館主催事業について

*視察研修について

*その他

第9回 平成2年12月13日(木) 公民館本館

*視察研修について

*その他

第10回 平成3年1月10日(木) 公民館本館

*国分寺市公民館視察研修について

*その他

第11回 平成3年2月14日(木) 公民館本館

*都公連委員部会研修報告について

*その他

視察研修 平成3年2月27日(水)

国分寺市本多公民館

並木公民館

光公民館

第12回 平成3年3月14日(木) 公民館本館

*任期の変更について

*公連審親睦会規約について

*その他

4. 奨励、援助

(1) 人的援助

各団体、個人の相談に応じ、職員が必要な助言、指導、援助を行った。

分館を除き、公民館では、夜間における社会教育の活動が昼間より非常に多いことから、これら社会教育活動をする市民（団体）の相談にのり、必要な援助をするため、職員が1名残る体制をとっている。（午後5時から10時まで）

(2) 教材、教具等の利用

(3) 事務援助

印刷事務援助等

(4) 会場借上

大ホール1回（福生市音楽愛好者連絡会）

小ホール4回（市民劇団バックス、福生市民コーラス、福生スキー連盟、子ども達と自然を守る会）

社会教育備品貸出し状況

内訳 \ 月	2年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	3年 1月	2	3	計
利用団体	2	3	3	11		3	5	5	4	1	5	5	47
16ミリ映写機	1	1	1	7		2	3	4	2	1	2	1	25
8ミリ映写機							1						1
8ミリカメラ													0
スライド映写機		1	1	3		1					2	1	9
O H P	1			2				1			1		5
スクリーン	1	2	2	4			4	2	1		2	1	19
暗幕		2						1				3	6
ビデオセット						1							1
スポットライト									2			1	3

立川社会教育会館フィルム配送サービス取扱い

内訳 \ 月	2年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	3年 1月	2	3	計
利用団体	1	0	7	4	0	5	3	2	2	0	2	2	28
本数	1	0	18	6	0	11	9	4	4	0	5	7	65

5. 公民館主催事業

(1) 幼 児

保育室事業

幼児の成長、発達をはかり、子どもをあずけることを通して母親が学習していく場として実施した。

期 間 (前期) 平成2年5月21日(月)～ 10月 日() 午前10時～正午
15×4コース

(後期) 平成2年11月9日(金)～平成3年3月20日(水) 午前10時～正午
15×4コース

会 場 公民館本館、松林分館、白梅分館

内 容 幼児が集団の中で主体的に関われるようにはたらきかける。

参加者 (前期)(14人+12人+9人×2c)×15回=660人

(後期)(12人+13人+16人)×15回+7人×16回=727人

計1,387人

コ ー ス		幼 児 数				計	延参加者数
		1 才	2 才	3 才	4 才		
前 期	公 民 館月曜コース	7	7	0	0	14	人 660
	" 木曜コース	2	5	1	1	9	
	松林分館金曜コース	6	5	1	0	12	
	白梅分館水曜コース	4	3	1	1	9	
後 期	公 民 館水曜コース	4	1	2	0	7	人 727
	" 金曜コース	8	3	1	0	12	
	松林分館月曜コース	4	5	2	2	13	
	白梅分館木曜コース	10	2	3	1	16	

公民館お楽しみ映画会・お楽しみ劇場

主に就学前の幼児と母親を対象に、映画、人形劇の鑑賞の機会を設けるために実施した。

月 日	内 容	回 数	人 数
4. 14	ミッキーマウスのキャンピングカー、他ディズニー作品	2回	100人
6. 16	ムーミン(2本)	2	40
8. 11	象のはなこ、おかあちゃんごめんね、他	2	30
10. 13	カバ園長の動物園日記	2	10
12. 1	人形劇「台所どうぶつえん」出演：グループわんぱく坊主	1	70
2. 17	アルプスの少女ハイジ	2	23
3. 2	天空の城ラピュタ	1	7

(2) 少 年

子どもアウトドア教室

野外生活に必要な知識・技術を学びながら、子ども同士の仲間づくりを図る。

期 間 平成2年7月26日(木)～8月30日(木) 午後2時～4時 全7回

会 場 公民館本館及び野外

参加者 30人×7回＝210人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 26	なかまを知ろう!	オリエンテーション、自己紹介	担当職員 小 倉 佳 奈氏 沢 村 雅 人氏 斉 藤 貢 司氏 金 子 佳 世氏
8. 2	ウォークラリー!	中央公園にてウォークラリー	
8. 9	カレーライスをつくろう	中央公園にてカレーづくり	
8. 16	キャンプ班会議だ!	役割分担等を決定	
8. 20	〃	スタンツ等を決定、最終チェック	
8. 22 8. 23 8. 24	アウトドアキャンプ	奥多摩アメリカキャンプ村 2泊3日のキャンプを実施	
8. 30	キャンプ反省会	キャンプの反省	

総括 例年の課題であったリーダー層の参加であるが、中学生10人、高校生2人と小学生中心のキャンプから、参加者の広がりがみられた。しかし、中学生、高校生がキャンプ準備やキャンプのリーダーとして、どのような役割をになっていくのか、リーダー自ら考える場が少なく、中高生の能力を生かしきれなかった。

今後の課題であるとともに、小学生とは別に中学生リーダー育成の場の必要性も感じた。

夏休み工作宿題対策室

夏休みの工作に悩んでいる子供達を対象に、何を作りたいか、それにはどうしたらよいか……から考え、工作のおもしろさを実感できるよう企画した。

期 間 8月8日～16日 水曜・木曜日 午前10時～正午

会 場 公民館本館

参加者 3人×4回＝12人

講 師 榎本 隆氏

総括 参加者が3人と少なかった。何を作るか、から始める教室だったので、子供達にはなじみにくかったのかもしれない。

夏休み工作教室「動物組み木をつくろう」

木のあたたかさを持つ手作りのおもちゃ、マスコットとして、動物組み木を作る。

期 間 平成2年8月29日(水)・30日(木) 午前10時～正午、午後1時～4時

会 場 公民館本館

参加者 15人×4回＝60人

内 容 小黒三郎氏のデザインによる動物組み木の製作

総括 子供達はすぐに電動糸ノコの使い方にもなれ、思いど通りに線の上を切って行った。本当はデザインも自分達の手で考えながら製作していく予定であったが、行き詰まってしまったようであった。糸ノコ作業は熱心にやっていたが、切った組み木にサンドペーパーをかけるとなると、途端に集中力がなくなり、長続きしない。出来上がった自分の作品に満足そうだった。

子ども教室

(1)遊びを通して、地域の異年齢集団の形式、(2)子どもの中の民主性の回復、(3)手のしなやかさ、手の技術を回復、(4)自然のふれあいを大事にしながら、地域を科学的に見る目を養い、(5)仲間に働きかけながら、なにかを一緒にやりとげる力を育て、子どもが自治能力を確得、(6)そうした活動を、子どものあそびや文化に関心を持つ青年と結んでいく。この6つの視点で、子どものあそびや文化活動を通して、豊かな発達を保障する目的で開設した。6月の活動は友達づくりのエポックです。

初めて出合った子ども達が人間関係を結びながら、まとまって行く時期、7月～8月は野外活動のエポックで、全身を使いながら、自然に親しみ、自然にふれる中で、生活体験を豊かにしていく。この時期、自然に親しみ、仲間と共同の仕事を通して協力しあう力や、初歩的な野外活動の技術をキャンプを通して身につけていく。9月は、共同製作を通して、仲間に働きかけながら、一緒にやりとげる力をつけていく時期とした。

期 間 平成2年6月9日(土)～10月12日 全20回 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 30×20人=600人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 9	ゲームを覚えよう	室内ゲームのいろいろと指導法	担 当 職 員
16	ゲームを覚えよう	"	"
23	ゲームを覚えよう	野外ゲームのいろいろ	"
7. 1	ゲームを覚えよう	"	"
8	作ってみよう	竹笛、割ばし鉄砲	"
15	作ってみよう	パタパタ	"
22	探検に出よう	多摩川、川渡り	"
30	探検に出よう	多摩川、草花丘陵	"
8. 5	探検に出よう	多摩川、草花丘陵	"
10	松林ワークキャンプ	松林の庭で1泊2日	"
11	松林ワークキャンプ	キャンプの基礎知識を学ぶ	"
16	松林キャンプ	松林キャンプ、五日市青少年キャンプ村、2泊3日	"
18	松林キャンプ		
9. 9	探検に出よう	草花丘陵を歩く	"

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
9. 15	みんなで作ろう	自転車解体	担 当 職 員
22	自動車を作る	自動車の組立	〃
29	自動車を作る	〃	〃
10. 5	自動車を作る	〃	〃
12	自動車に乗ってあそぶ		〃

総 括 子どもの生活が年々きびしさを増してくる中で、遊びを通して参加者の子どもたちに、通塾回数を聞いたところ、平均的に週4日であった。年々子どもたちの生活の中から、子どもの意志で使える時間が少なくなっている。しかも、子どもの人間関係が細くなっている現実の中で、異年齢集団の中で多様な経験を出来る場がますます大事になって来ている。最近、継続的な参加者が増えている。

子ども教室Ⅱ、パッチワーク教室

子どもの手のしなやかさを作ってきた、手労働が子どもの生活の中から失われて久しい。子どもが生活の中で手労働を楽しむ機会とした。

期 間 平成3年3月28日～4月1日 全4回 午後1時30分～4時

会 場 松林分館

参加者 3人×4回＝12人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
3. 28	手さげバックを作る	型紙を作る、パッチワークの基礎	深瀬恵子氏
29	手さげバックを作る	手さげバックをつくる	パッチワーク
30	手さげバックを作る	〃	研 究 家
4. 1	手さげバックを作る	作品完成	

ファンタスティック

1987年、子ども教室の中から演劇をやりたい子供たちが集まって結成。こども達の自主的運営を中心に、小学校2年生から中学2年生までの10人の構成。

期 間 平成2年4月14日（土）～平成3年3月17日

会 場 松林分館

参加者 9人×40回＝360人

平成3年3月17日 「こうして豆は煮えました」 公演。

サバイバル教室

異年齢の集団の中で、教え、学びあいながらそれぞれの成長を促すこと、及び自然とのふれあいの中で、心の豊かさをのばすことを目的として行った。

期 間 平成2年7月15日（日）～8月29日（水） 全8回

会 場 松林分館 他

参加者 15人×9回＝144人

月 日	内 容
7. 15	オリエンテーション、自己紹介
22	カレーライスづくり
25	都民の森から三頭山をハイキング
8. 1	葛西臨海水族園の見学
3	キャンプのうちあわせ
7	キャンプファイヤー
8	キャンプ 近くの滝までハイキング
22	紙飛行機づくり
29	紙飛行機とばし、反省会

総 括 カレーライスづくりやキャンプでは、皆が明るく、協力しながら行動できた。他の催しも一生けん命に見たり、歩いたりした。

子ども将棋教室

子ども達（小学生）に将棋のたのしさを教えると共に、友達づくりを目的として行った。

期 間 平成3年3月24日（日）～3月31日（日） 午前10時～正午 全7回

会 場 松林分館

参加者 8人×7回＝56人

講 師 栗原 玄氏（日本将棋連盟福生支部）

月 日	内 容
3. 24	将棋を始めるまえに〔基本的な知識・ルールと常識〕
25	駒の効果的な使い方〔駒の働き・駒の連係〕
27	〃 〔応用編〕
28	将棋の基本的な指し方 ① 王の囲いと駒組の仕方
29	〃 ② 囲いのくずし方・必死
30	駒落ち将棋 〔六枚落ち・二枚落ち〕
31	平手戦の指し方〔相矢倉等・まとめ〕

総 括 1時間講義、1時間実戦（よく覚えていない子には、講師が教えながら行った。）をすることにより、友達同士の関係をつくった。

たんけん教室

身近な丘陵や多摩川などの自然の中で身体を使って仲間と遊ぶ事を通して、経験としての自然体験を内在化する。また、林の成立ちを見て歩いたり、奥多摩の林との比較をする機会として実施した。

期 間 平成2年5月12日（日）～平成3年3月21日（祝日） 全17回

会 場 白梅分館・多摩川・滝山丘陵・草花丘陵他

参加者 延べ参加者数 240人

講 師 岡田紀夫氏他、実技指導員数名を依頼した。ほとんどの回を実技指導員で対応した。

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5.12	白梅会館	オリエンテーション	自己紹介とこの教室の紹介など	
20	滝山丘陵	滝山オリエンテーリング	地図とコンパスの使い方を学ぶ	
6.10	草花丘陵	草花ネイチャーゲーム	草花丘陵で遊びに挑戦する	
30	白梅会館	自転車点検	入念な自転車の点検	
7. 1	滝山丘陵	滝山ネイチャーゲーム	自転車を利用し滝山丘陵で遊ぶ	
18	白梅会館	夏休み打ち合せ	夏休みの事業注意点の説明	
8.17	滝山丘陵	野宿に挑戦！	本来の野外活動の実態を知る	
18			近くの滝山丘陵で野宿に挑戦した	
9.15	天 覧 山	フリークライミングに挑戦	フリークライミングに挑戦	
23	草花丘陵	菅生丘陵を歩く	菅生丘陵の自然の観察	
10.10	滝山丘陵	味覚のたんけん	栗、あけびなどを採集し食べた	
28	狭山丘陵	狭山丘陵探検	狭山丘陵の動植物の観察	
12. 8	白梅会館	たんけん忘年会	今年の活動の様子を振り返る	
16	滝山丘陵	初冬の滝山丘陵	滝山丘陵の二次林を見て歩く	
1.27	草花丘陵	冬の菅生丘陵	冬の菅生丘陵を自転車で歩く	
2.11	浅間尾根	冬の山登り	厳冬期の奥多摩浅間嶺登山	
3.21	肝 要 峠	ファミリーハイキング	一年間に身につけた力を披露	岡田紀夫氏

総 括 台風や雨天のため中止になったプログラムがあり残念である。しかし、全体的にはかなり順調に実施できた。

子ども達は、自然の中ではほっておいても仲間と草木に働きかけて遊ぶ力は残っているが、全体的に弱くなっている。また、意欲も弱くなっているように思う。

栗ひろいなどにも、関心が深い子どもと全く関心を示さない子どもの差が大きくなっている。今後は、ますますやりにくくなるような気がする。

(3) 青 年

夏のボランティア活動体験学習

青少年がボランティア活動にかかわるきっかけの場となるよう福生市社会福祉協議会と共催で実施した。

期 間 平成2年7月19日(木)～9月8日(土)

会 場 公民館およびボランティア受入れ施設

参加者 延べ60人

月 日	内 容	場 所
7. 29	講 演 会	公 民 館
	ボランティア受入れ施設 サンシャインビラ(老人ホーム) 青 梅 学 園 (精神薄弱児施設) 若 葉 保 育 園 公民館障害者青年学級「にじのはらっぱ」 れ ん げ 園 福生おもちゃ図書館	
9. 8	交 流 会	公 民 館

総 括 今まで主に市内の中学生の参加者であったが、徐々にではあるが市外の高校・大学からの参加者も見られるようになった。今までの参加者が進級したためか、口コミで体験学習が知られてきたためであろうか。

青年ホビーカレッジ 「ザ・マジック」

マジックを通して、青年同士のコミュニケーションの機会として実施した。

期 間 平成2年11月19日(月)～平成3年3月20日(月)

会 場 公民館

参加者 延べ50人

月 日	内 容	講 師
11. 19	スプーン曲げ、4つのガラスのあてももの、他	高 橋 邦 彦 (担当職員)
26	ダクハス、ひものマジック、他	
12. 3	サムチップ、ハンカチねずみ、他	
10	ひも切り、テレバンシーカード、他	
1. 14	長さのちがう3本のひも、祭りばやし、他	
21	新聞やぶり、グライド、シルクのうそむすび、他	
28	フォアエース、リーディングカード、他	
2. 4	塩を使ったカードあて、新聞紙の表現、他	
18	6枚ハンカチ、オイルアンドウォーター、他	
25	デモンストレーション	小林文美氏(T.C.C)

総 括 当初、講座最終回に小ホールでステージマジックのショーを参加者で実施する予定であったが、参加人数が少なかったためステージマジックはあきらめ、トランプやひも等の身近な小物を使ったクロースアップマジックを中心におこなった。

参加者の大半が保母であったので、小集団に見せるのに適したクロースアップマジックは、かえって好評であった。

(4) 障 害 者

青年学級「にじのはらっぱ」 (障害者青年学級)

障害を持った青年が、集団活動を通して仲間づくりや基礎的生活習慣を身につける場として実施した。

期 間 平成2年5月13日(日)～平成3年3月24日(日)

会 場 公民館本館および野外

参加者 21人×22回＝462人

回	月 日	内 容	会 場
1	2. 5. 13	開 級 式	カニ坂公園
2	27	班 活 動	公 民 館
3	6. 10	ハイキング(青梅丘陵・多摩川土手2コース)	
4	24	班 活 動	公 民 館
5	7. 8	公民館のつどい・工作	"
6	22	河川清掃	多摩河原
7	8. 5	プール・合宿打合せ	一中プール
8	12~13	夏期合宿	西湖
9	9. 9	スポーツ交流	羽村養護学院
10	30	班 活 動	公 民 館
11	10. 21	社会科見学	葛西臨海水族園
12	11. 4	市民のロードレース	市 内
13	25	市内史跡ハイキング	"
14	12. 9	弁論大会	市民会館小ホール
15	16	ハイキング	都 民 の 森
16	3. 1. 6	新 年 会	公 民 館
17	27	班 活 動	"
18	2. 3	合宿打合せ	"
19	17	ボーリング大会	中神ヤングボール
20	3. 3~4	冬期合宿	草 津
21	17	映画鑑賞	新 宿
22	24	閉 級 式	公 民 館

総 括 学級生の代表から成る「運営会議」もより充実してきて、学級生の中にも一年の活動の流れとその中で自分達の役割が定着しつつあるようである。

聴覚障害者のための映画会

聴覚障害者のために字幕付き邦画を上映し、映像文化に接する機会を設けた。

期 間 平成2年4月27日（金）～平成3年3月15日（金）

会 場 公民館本館

参加者 90人

月 日	作 品 名	入 場 者 数
2. 4. 27	神様のくれた赤ん坊	15人
6. 29	天国と地獄	15
8. 31	瀬戸内少年野球団	18
11. 9	男はつらいよ	12
3. 1. 25	花いちもんめ	17
3. 15	男はつらいよ	13

総 括 入場者は少ないようであるが、少しずつではあるが年ごとに入場者もふえてきている。邦画を楽しむ機会の少ない聴覚障害者には、この映画会は貴重な場になっているようである。

(5) 婦 人

本館保育室連絡会

保育室利用サークルどうし、また公民館との連絡調整、情報交換の場として実施した。

会 場 公民館本館

参加者 6人×8回＝48人

月 日	内 容
5. 12	部屋の片付け、模様替え、集会室の利用について
7. 25	保育室備品について
9. 13	保育室備品の視察
26	後期主催事業、トイレ設置の署名、ドッジボール大会について
10. 26	前期保育室事業の自主グループ化に伴う保育室の使用について

月 日	内 容
11. 29	トイレ設置の署名について
1. 31	トイレ設置の署名、平成3年度備品について
3. 15	保育室備品、保育室専用トイレについて

総 括 隔月で行うことになっているが、臨時に開いた月もあり、連絡会として定着してきた。その中から「公民館本館保育室のトイレ、手洗い場設置」の署名の提案がサークルから出てきたと感じる。今後は保育の内容、子供の成長や発達を共に考えていく「保育室運営会議」への参加を積極的に呼び掛けていきたい。

わたし 再発見 新しい自分を見つけよう

男は仕事、女は家事、育児という性別役割分業の固定観念に揺さぶりをかけ、問い直す場として行った。保育室併設の講座である。

期 間 平成2年11月14日(水)～平成3年3月20日(水) 午前10時～正午
全15回

会 場 公民館本館

参加者 7人×16回＝112回

月 日	テ ー マ	内 容	助 言 者
11. 14	保育室について	公民館保育室について	
21	自分のこと話してみようⅠ	わたしの思い出	
28	〃	〃	
12. 5	いま、女たちは	現代女性のおかれている状況、子育て期を女性の一生の中で位置づける	折井美耶子 (女性史研究家)
12	子どもは3才まで!	3才児神話を考える。出生率低下はなぜ。子育ては女だけがやること?	〃
19	保育室の子どもたちⅠ	保護者学習会	高崎 文江 (公民館保育者)
1. 9	男も女も子育てを	これからの育児のあり方 世界の子育て事情	折井美耶子 (女性史研究家)

月 日	テ ー マ	内 容	助 言 者
1. 23	保育室の 子どもたちⅡ	保護者学習会	田中 加代 (公民館保育者)
30	家事って何だろう？	我が家の家事再点検 女の仕事は家事？	折井美耶子 (女性史研究家)
2. 6	みんなで家事を	家族みんなで家事をする。何のため に？	〃
20	保育室の 子どもたちⅡ	保護者学習会	宍戸 夏子 (公民館保育者)
27	私にとっての反戦	湾岸戦争から私(たち)にとっての反戦、 何ができるかを考える	折井美耶子 (女性史研究家)
3. 6	なぜ再就職？	働く女性の実態 なぜ女は再就職なのか？	〃
13	保育室の 子どもたちⅢ	保護者学習会	田中 加代 (公民館保育者)
20	21世紀のわたし	10年後の私をえがく	折井美耶子 (女性史研究家)

総 括 折しも湾岸戦争勃発の時期で、参加者からの強い要望で「私にとっての反戦」というテーマで話し合いをすることになった。また、学習が進んでいく中で「老人ホーム」の見学をしたいということになり、講座終了後の3月27日に「日の出老人ホーム」見学を実施した。参加者は当初11人の申込みがあったが、5人の方が途中から止めたり、休んだりした。作文を書いたり、自分の意見を述べたり、進行や記録を持ち回りすることが参加者にとってきつかったのかもしれないが、講座の目的を達成するために必要な学習方法であった。

今だから考えたい、脱専業主婦

主婦のおかれた現状を学び、そこから自分たちの課題をさぐりだし、主婦が外に目を向けるきっかけとする。

期 間 平成2年11月9日(金)～平成3年3月8日(金) 午前10時～12時 全15回

会 場 公民館本館

参加者 12人×15回=180人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 9	オリエンテーション	講座・保育室の説明、自己紹介	
16	自己紹介	自 己 紹 介	
30	保育室の子どもたち1	公民館保育室とは	佐々木京子氏(保育者)
12. 7	主婦の状況	主婦のおかれた状況と課題	和田 好子氏 (わいふ副編集長)
14	講師の話を聞いて	話 し 合 い	
21	保育室の子どもたち2	保育室だよりを読んで	宍戸 夏子氏(保育者)
1. 11	主婦と仕事	主婦の労働状況と課題	赤井久美子氏 (サンケイリビング編集長)
18	講師の話を聞いて	話 し 合 い	
25	保育室の子どもたち3	保育室だよりを読んで	坂本由美子氏(保育者)
2. 1	脱専業主婦と子育て	働らく母親と子育て	田中喜美子氏 (わいふ編集長)
8	講師の話を聞いて	話 し 合 い	
15	運営会議について	保育室運営会議について話し合い	
22	保育室の子どもたち4	保育室だよりを読んで	高崎 文江氏(保育者)
3. 1	脱専業主婦と子育て	働らく母親と子育て	岡本 富郎氏 (白梅短大教授)
8	ま と め	これからの私たちの生き方	

総 括 今回は脱専業主婦をテーマに講座を組んでみた。仕事をしてみたいと日々思いつつ、子育てや家事に追われる毎日を過している人が大半であったが、講座進行とともにそれぞれが自分の課題を話し合いのなかで整理し、講座の途中で仕事につくケースもみられた。講座終了後、仕事についた人、学校に通い始めた人等、それぞれの道を歩みだしたため、自分たちの気持ちを冊子にまとめることを通して活動を続けている。

家庭教育学級「子どもを育て、自分を育てる」

子どもを預けることを通して見えてくる様々な事柄をもとに、子育ての知恵や生活の知恵を話し合いを中心に、お互いに深めあっていくために、また、普段の生活を女性問題の視点を当てて学びあっていくために実施した。（月曜保育室併設）

期 間 平成2年5月21日～10月8日 午前10時～正午 全15回

会 場 公民館

参加者 13人×15回＝195人

月 日	内 容	講 師
5. 21	オリエンテーション（保育室を中心に）	
28	〃 （学級を中心に） 自己紹介① 月曜チェック	
6. 4	自己紹介② 月曜チェック結果発表・自分の子育てを振り返る	
11	自己紹介③ 高齢化社会と女性問題－親の介護について	
18	映画「アリサーヒトから人間への記録」を見て、話し合い	
25	保護者学習会	宍戸夏子氏
7. 2	子どもの生活リズムを考える	梶谷克子氏
9	フォーカス（保育記録）を読んで	田中加代氏
16	保護者学習会	高崎文江氏
8. 27	夏休みの生活について＝報告	
9. 3	保護者学習会	梶谷克子氏
10	子どもの成長・発達について	岡本富郎氏
17	岡本先生の話を受けて＝話し合い	
10. 1	子どもの成長・発達と性	佐藤洋子氏
8	保護者学習会	田中加代氏

総 括 今年度は保育室での出来事をできるだけ学級に反映できるように、なるべく保育者にも学級に顔を出していただき、一緒に学習をしていった。プログラムの組み立ても、参加者の要望をいれながら行った。話し合いはいつも盛り上がり、参加者の中で問題提起やまとめをしたり……と和やかな中に進んでいった。

ステンドグラス教室（保育室併設）

育児期の母親が自らの時間、自らの人生、そして趣味を持つ機会として、また仲間づくりから地域や父親の子育ての役割を考える機会として、以下のように実施した。

期 間 7月5日（木）～10月25日 午前10時～正午 全15回

会 場 公民館

参加者 9人×15回＝135人

回	月 日	内 容	備 考
1	7. 5	オリエンテーション	
2	12	ステンドグラス 型紙、型おこし	
3	19	〃 ガラスカット	
4	26	保育室の様子 子供をあずけて、親の感想	保 育 者
5	8. 2	ステンドグラス ガラスカット	
6	23	〃 コパーテープ巻き	
7	30	〃 〃	
8	9. 6	子供達の成長 仲間の中での成長と親の目	保 育 者
9	13	ステンドグラス ハンダづけ	
10	20	〃 〃	
11	27	〃 ステンド組み立て	
12	10. 4	仲間同士育ち合い 子供の育ち、親の育ち	保 育 者
13	11	ステンドグラス 組みつけ	
14	18	〃 仕上げ	
15	25	終 了 式	

家庭教育学級 手づくり絵本コース

子育てをテーマに、手づくりの絵本創作を通して、改めて子育てや、自分の生活を見直し子どもの文化について考える機会とした。

期 間 平成2年5月25日（金）～平成2年9月28日

会 場 松林分館

参加者 17人×15回＝255人

月 日	テ ー マ	講 師
5. 25	オリエンテーション	木住野利明氏
6. 1	子育てをめぐる状況を考えようⅠ	絵本作家
8	私の絵本論	〃
15	ストーリーを考える	〃
22	絵本の枠組を考えよう	〃
29	子育てについて考えるⅡ	中村
7. 6	絵本の枠組を考える	木住野利明氏
13	絵本の技法	〃
20	子育てについて考えようⅢ	坂本由美子氏
27	絵本の制作	木住野利明氏
8. 31	絵本の制作	〃
9. 7	絵本の制作	〃
14	絵本の製本	〃
21	子育てについて考えるⅣ	田中 加代氏
28	合 評 会	

松林保育サークル交流会

松林分館保育室利用団体の交流と保育について学ぶ場として設定した。

月 日	テ ー マ
4. 27	保育室の様子、保育室整理
7. 6	保育室の様子＝子どもたちは、箱積木作り
12. 8	保育室の様子

家庭教育学級 「幼児の心と身体の発達について」

昨年同様、幼児の心の発達、栄養、病気について、講師に話していただきまた、保育園で実際に子育てを行っている保母さん、園長先生に来ていただき、子供の成長の様子や、家庭で必要な子育てを話していただいた。また、それをもとにお母さん方に感じたことを話し合っていたいただいた。

期 間 平成2年11月19日（月）～平成3年3月18日（月） 午前10時～正午

全15回

会 場 松林分館

参加者 11人×15回＝165人

月 日	内 容	講 師
11. 19	オリエンテーリング	
26	自 己 紹 介	
12. 3	幼児の身体の発達について	福 生 保 健 所 保 健 婦
10	幼児の病気と健康管理について	〃
17	保育室の子どもたち1	梶 谷 克 子 氏
1. 7	話 し 合 い	
14	幼児の心と身体の発達について （主に心の発達について）	岡 本 富 郎 氏 （白梅短大教授）
21	保育室の子どもたち2	田 中 加 代 氏
28	幼児の心と身体の発達について （主に心の発達について）	岡 本 富 郎 氏 （白梅短大教授）
2. 4	話 し 合 い	
18	保育室の子どもたち3	中 村 け い 子 氏
25	幼児の心と身体の発達について （保育園の子どもを例に）	} 市川幾与恵氏（保育園園長） 野村喜美枝氏（保育園保母）
3. 4	〃	
11	保育室の子どもたち4	高 崎 文 江 氏
18	ま と め	

総 括 幼児の心の発達、からだの発達、病気のこと、子育て中の母親がいちばん気になっている内容なので、真剣に聞き質問も話し合いも積極的であった。

幼児教育学級 「たのしい子育てひろば」

「元気で活発な子どもに育ってほしい。」そんな願いを実現していけるよう、・幼児期の発達、
・親の子どもへの対応、・親おとなとしての主体形成、・子どもの発達環境（家庭・遊び活動）
づくりを考え、地域にすてきな仲間の輪を広げていけるよう、以下のように実施した。

期 間 平成2年11月15日（木）～平成3年3月14日 午前10時～正午 全15回

会 場 白梅会館

参加者 15人×15回＝225人

回	月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1	11. 15	内容紹介	保育室事業参加の話し合い	話 し 合 い
2	22	〃	母親自己紹介、幼児教育学級進め方	〃
3	29	幼児期の発達Ⅰ	幼児期の発達と原体験	大堀 容子氏
4	12. 6	〃 Ⅱ	子どもの動作・行動から心の発達	〃
5	13	子育て交歓（1）	私達の子育て、生活づくり	話 し 合 い
6	20	保護者学習会①	保育室での子どもの様子	保 育 者
7	1. 10	非行の芽	少年非行と幼児期の子育て	川辺 進氏
8	17	子育て交歓（2）	保育室参加の経過から。女性の現状	話 し 合 い
9	24	保護者学習会②	保育室での子どもの様子 父親参加	保 育 者
10	31	非行の芽	自然の中で豊かな感性を育てよう	川辺 進氏
11	2. 7	子育て交歓（3）	私達の生活・人生設計について	話 し 合 い
12	21	遊び場づくり	世田谷プレイパーク、子どもの成長	天野 秀昭氏
13	27	保護者学習会③	保育室での子どもの様子 家事とは	保 育 者
14	3. 7	遊び場づくり	プレイパーク「親・おとなの活動」	天野 秀昭氏
15	14	保護者学習会④	子どもの変化、私達の今後の活動	保 育 者

総 括 終了後、公民館で自主保育活動を開始し、市内の公園で集う活動も実施されている。

身近な自然環境を考える

子育て中のお母さんを対象に、公園についての利用方法や今後の利用についてのノウハウを提供する機会とした。

また、特に身近な環境に関心を持つ必要性を理解してもらうよう、プログラムした。

期 間 平成2年5月23日(水)～10月3日(水) 全15回

会 場 白梅分館

参加者 8人 延べ人数120人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
5. 23	オリエンテーション	自己紹介、この教室の概略の説明など	
30	調査報告 1	子どもが遊んでいる公園を調べる	
6. 6	調査報告 2	〃	
13	身近な自然と子ども	自然の中で遊ぶことの大切さ	宮岡 一雄氏
20	自然観察の意味	身近な自然環境を観察記録する意味	藤本 和典氏
27	保育学習会	運営会議の報告と日頃の保育の様子	佐々木京子氏
7. 4	ナショナルトラスト	狭山丘陵のトトロ基金とは何か?	池谷 文夫氏
11	身近な自然の利用	身近な自然の具体的な利用方法	高橋 千尋氏
18	保育学習会	運営会議報告と日頃の保育の様子	坂本由美子氏
8. 29	夏休みを経て	夏休みの過ごし方を点検する	
9. 5	保育学習会	運営会議報告と日頃の保育の様子	宍戸 夏子氏
12	公園の環境デザイン	公園の使い方を専門家の視点から聴く	仙田 満氏
19	福生市のイメージ	市政世論調査用紙を参加者が分析	
26	東京都の公園	都の公園職員から公園利用を聞く	倉本 宣氏
10. 3	保育学習会とまとめ	通常の保育学習会と今回のまとめ	

家庭教育学級 「のびのびと子どもを育てたい」

子どもはのびのびと育ってほしい……、これは親の変わらぬ願いです。でも成績のこと、友達のこと……いろいろ口を出し、手を出すのも親の常……。

「子どもの権利条約」が国連で採択されて1年がたちました。子どもは保護されるもの……という認識から、子どもも一人の人間として、人権を大事にしていこうという認識がひろがっていま

す。これにより様々な波紋が投げ掛けられているのも事実です。子どものしあわせは、子ども自身が決めていくこと、そのために、私達は何をしなくてはならないのでしょうか？

とはいえ、子どもが何を考えているのかわからない……など、自分の子どもさえ見えにくくなってきているような気もします。そんな、こんなを出し合いながら、子どもの自立を目指した子育ての知恵を学びあっていきます。

期 間 平成2年11月8日～12月6日 全6回

会 場 公民館

参加者 12人×6回＝72人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 8	オリエンテーション	自己紹介 親の目から見た今の子どもの状況を出し合う。	
11. 15		子どもの権利条約を読む。 昨年11月採択された子どもの権利条約について、自分達の子育てに引き付けて学ぶ。	木 全力夫氏 (創価大学)
11. 18		男の子育て。 父親不在の家庭が叫ばれている昨今ですが、子育てにおける父親の役割は、母親、そして地域社会と同じ様に大切です。映画「親ばかちゃんりん」を見ながら、男の子育て、家事参加について、考え合っていきます。	須長 茂夫氏 (原作者)
11. 22		女性が働くことと子育て。 子育ては女の役割……という認識の強い中で、女性が働くことと子育てとのかかわりがいろいろといわれています。例えば、母親が働きに出ると子どもが非行にはしる……、買い食いや外食がふえる……などです。働く母親を子供達はどう見てるのでしょうか？ そして、親も子も生き生きと暮らしあえる関係をどう作っていったらよいか考える。	高橋 道子氏 (東京学芸大)
11. 29		「親ばかちゃんりん」を見る。 前回は日曜日のため参加できなかった方のためにもう一度上映する。	
12. 6	まとめ	今までのプログラムをふまえ、話し合い。	

総 括 準備会に5人のご参加をいただき準備を進めた。前年の「小学生」の反省の中で、話し合い時間があまりもてなかった…との意見もあり、話し合いを講座の中にできるだけ組み入れたが、反面、話し合いの中でお互いの理解不足からか中身を高めあって

いく方向へ機能しなかったのは残念だった。講座自体は2部構成で、このあと、子どもの生活や体と心などを実施する予定だったが、中止した。

家庭教育学級 「のびのびと子どもを育てたい」準備会

講座の内容を市民の皆さんと共に作り上げるため実施した。

期 間 平成2年9月13日～10月4日 午前10時～正午 全4回

会 場 公民館

参加者 5人×4回＝20人

内 容 講座の中身をつくりあげるための話し合いと子どもの権利条約などを学びあう。

おとうさん、おかあさんのための

1年生になる前に

これから子どもを学校に上げる親を主な対象とし、学校のこと、教育のこと、子どもの生活などについて、共に考えあう機会として設定した。

期 間 平成3年2月21日～3月22日 午前10時～正午 全5回

会 場 公民館・福祉会館

参加者 16人×5回＝80人

日 程	テ ー マ	講 師
2. 21 (木)	よろこんで学校へ行けるために	渡辺静子氏(元小学校長)
2. 28 "	勉強のことあれこれ	海老原治善氏(東京学芸大教授)
3. 7 "	子供のころとからだ	坂入博子氏(専門家)
3. 14 "	P T A入門	高水清安氏(市P連会長)
3. 22 (金)	子供の豊かな育ちをささえあうために	溝淵幸太郎氏(専門家)

総 括 これから子どもを学校に上げる親をメインにしたが、子どもが学校へ上がっているの方が多かった。これから子どもを初めて学校に上げる方はまだ下に子どもがいるようで保育室をつける必要性を感じた。内容については準備会をもうけて、参加者の方々と煮詰めていった。話し合いの時間も講座の一コマ一コマに入れていったが、もう少し突っ込んだ話し合いができればと思った。

一年生になる前に 準備会

講座の内容を市民の皆さんと共に作っていくために実施した。あわせて、学習会を実施した。

期 間 平成3年1月17日～2月14日 毎週木曜日 午前10時～正午 全5回

会 場 公民館・福祉会館

参加者 5人×5回＝25人

月 日	内 容
1. 17	講座の趣旨説明、内容について意見を出し合う
1. 24	プログラムを作る
1. 31	学習指導要領を学ぶ（教育基本法・学校教育法を読む）
2. 7	〃
2. 14	〃

主婦再就職への設計図

主婦がすこしでもよい再就職口が得られるよう、日商簿記2級の資格取得をめざした。

期 日 平成2年6月16日（土）～11月17日（土） 全61回

土曜日は 午後1時30分～4時

日曜日は 午前9時30分～12時

他の曜日は 午後6時30分～9時

会 場 松林分館他

参加者 延べ1,440人

講 師 伊藤 一夫氏（元職業訓練校講師）

月 日	内 容
6. 16	オリエンテーション、3級の練習問題
20	3級の練習問題
23	3級の練習問題
27	商業簿記・現金預金取引
30	商業簿記・現金預金取引
7. 1	商業簿記・有価証券取引

月	日	内 容
7.	4	商業簿記・有価証券取引
	7	商業簿記・有価証券取引
	8	商業簿記・債権・債務取引
	11	商業簿記・債権・債務取引
	14	商業簿記・手形の処理
	15	商業簿記・その他の債権・債務取引
	18	商業簿記・固定資産、資本、税金
	21	商業簿記・三分法の決算
	22	商業簿記・減価償却と貸倒れ
	25	商業簿記・帳簿決算、精算表
	28	商業簿記・総合問題、三伝票、集計
8.	1	商業簿記・繰延と見越
	4	商業簿記・帳簿決算、精算表
	6	商業簿記・総合問題
	8	工業簿記と原価計算
	11	工業簿記の構造
	13	3級練習問題
	15	工業簿記・材料費
	18	工業簿記・労務費
	20	3級練習問題
	22	工業簿記・経費
	25	工業簿記・製造間接費の配布
	27	3級練習問題
	29	工業簿記・総合問題
9.	1	工業簿記・部門別計算
	3	商業簿記・有価証券
	5	商業簿記・保証、未決算
	8	商業簿記・手形取引、荷為替手形

月	日	内 容
9.	9	商業簿記・商品売買、棚卸減耗と評価損
	12	商業簿記・特殊商品売買
	14	商業簿記・特殊商品売買
	19	商業簿記・損益取引
	22	商業簿記・決算
	23	商業簿記・株式会社会計（資本について）
	26	商業簿記・株式会社会計（社債）
	29	商業簿記・株式会社会計（繰延資産）
	30	商業簿記・株式会社会計（法人税等）
10.	13	商業簿記・株式会社会計（本支店会計）
	14	商業簿記・株式会社会計（本支店会計）
	17	商業簿記・株式会社会計（帳簿・組織）
	20	商業簿記・株式会社会計（帳簿・組織）
	21	商業簿記・精算表
	24	商業簿記・精算表
	29	工業簿記・個別原価計算
	31	工業簿記・単純総合原価計算
11.	3	工業簿記・等級別総合原価計算
	4	工業簿記・組別総合原価計算
	5	工業簿記・工程別総合原価計算
	7	工業簿記・製造原価報告書
	10	午前9時30分～12時 総 合 問 題
	10	午後1時～3時30分 総 合 問 題
	11	午前9時30分～12時 総 合 問 題
	11	午後1時～3時30分 総 合 問 題
	14	総 合 問 題
	17	総 合 問 題

総 括 実にハードな日程だったが、参加者は夫等の協力を得ながら、よくがんばられた。

今年は、はじめて簿記を習った人が大多数だったので、2級に合格したのは1名だったが、3級は7名受けて全員合格した。

婦人のひろば

子育て以後の婦人の仲間づくり、ライフスタイルの形成を目標に、今回日常生活に直接役立つ“年賀はがきを水墨画で”を中心に以下のように実施した。

期 間 平成2年11月19日(月)～平成3年1月28日 午後7時30分～9時30分
全5回

会 場 白梅会館

参加者 15人×5回＝75人

回	月 日	内 容	備 考
1	11. 19	高齢期を地域で健康的に生きるため	吉 野 チ ェ 氏
2	11. 26	年賀はがきを水墨画で I	山 添 地 恵 氏
3	12. 3	〃 II	(水墨画研究)
4	12. 10	年 末 親 睦 会 (私の1年)	親 睦 会
5	1. 28	水墨画個々作品仕上げ	山 添 知 恵 氏

公民館とグループの共催事業として実施し、以後新たなメンバーを加え自主活動へ。

(6) 成 人・一 般

市民文化教室

1. 主 催 福生市公民館・福生市文化連盟
2. 目 的

多くの市民に趣味や実技、教養に関する初歩的学習の機会を提供することにより、市民の文化活動への参加を促し、その活動の拡大に役立てる。

- ・公民館は、連盟の力を伸ばすとともに、市民の学習の場を拡大していく。
- ・文化連盟は、連盟のもつ力を市民に提供することによって、市民文化形成のリーダーの役割を果たすと同時に、組織の拡大(参加者や学習面)に役立てる。

コース	開 講 期 間	内 容	指 導 者	参 加 者
俳 句	(全10回月曜午後) 6月11日~8月13日	俳句の初歩	来住野元一氏	260人
三 味 線	(全10回 金曜夜) 7月6日~9月14日	三味線の初歩・基礎	喜多川保延氏	300人
編 物 手 芸	(全10回木曜午前) 7月12日~9月27日	初心者のための編物手芸	堂田きよ子氏	130人
社交ダンス	(全10回 土曜夜) 8月25日~10月27日	初心者講習会	小宮 春吉氏	390人
人 形	(全10回木曜午後) 7月12日~8月16日	木目込人形基礎から	酒井 虹氏	100人
民 踊	(全10回月曜午後) 8月13日~10月29日	民踊り初心者講習	花柳 織弥氏	110人
茶 道	(全10回月曜午前) 9月3日~11月15日	茶道(お点前)の基礎	高山 君子氏	110人
書 道	(全10回木曜午前) 9月6日~11月15日	楷書、行書、草書、かな	私市 好美氏	250人
民 謡	(全10回 日曜夜) 9月23日~12月9日	初心者民謡講習	澤田 春駒氏	170人

市民文化教室「公民館主管コース」

コース	期 間	内 容	講 師	参加者
初 心 者 ワ ー プ ロ 教 室	平成3年3月13日(水) ~16日(土) 午前10時~正午	ワードプロセッサの基本 操作と簡単な文章作成	進藤 知美氏	10人 ×4回 =40人
ス テ ンド グ ラ ス 教 室	平成3年6月6日~ 全40回	ランプシェードの 製作と仲間づくり	津田 映子氏	8人 ×40回 =320人

こだわり講座 「ぐい呑みをつくる」

働く中年の地域での仲間づくり、趣味を発見し会社以外にも楽しみを作るために以下のように実施した。

期 間 平成2年11月15日（木）～ 以後毎週木曜日 全6回

会 場 公民館、白梅会館、ほか

参加者 12人×6回＝72人

回	月 日	内 容	備 考
1	11. 15	ぐ い 呑 み の 定 義	指 導 柴田 繁氏
2	22	土 練 り、 成 型	〃
3	30	素 焼 き	〃
4	12. 6	絵 つ け	〃
5	9	本 焼 き	〃
6	13	講 評	〃

16ミリ映写機操作講習会

16ミリ映写機の操作技術の修得と、視聴覚教材の知識を身につける機会として実施した。

期 間 平成2年6月13日（水）・14日（木）・16日（土）・17日（日）

午後7時～10時（17日のみ午前9時～午後4時）

会 場 公民館本館

参加者 延べ45人

月 日	内 容	講 師
6. 13	操 作 方 法 の 説 明	矢 本 敏 行 氏
14	操 作 練 習	佐 藤 勝 貫 氏
16	〃	上 島 茂 氏
17	個 別 操 作 と 修 了 式	

総 括 講習会修了者にその技術を生かす場を確保し、技術の維持をはかる機会として、映写の依頼等には積極的に講習会修了者を紹介していく必要があろう。

社会教育講座 「生涯学習振興法」

生涯学習振興法と生涯学習社会自体を、賛成、反対の両立場からひもとき、その本質を考える機会として実施した。

期 間 平成3年3月4日(月)・11日(月)・25日(月)

午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 17人×3回=51人

月 日	内 容	講 師
3. 4	私たちが望む生涯学習と生涯学習振興法	奥田 泰弘氏(中央大学教授)
11	社会教育法と生涯学習振興法	平沢 茂氏(亜細亜大学教授)
25	生涯学習振興法と公民館	長沢 成次氏(千葉大学教授)

総 括 生涯学習振興法を賛成・反対の両立場からその問題点を明らかにし、参加者自身が評価を下し得るような内容になった。参加者中、社会教育委員の参加が目立った。

時事講演会 「新土地保有税の周辺」

社会的問題となった土地問題の解決の一途として検討されている「新土地保有税」の本質とその影響について市民レベルで考える機会として実施した。

期 間 平成3年2月27日(水) 午後7時～9時

会 場 公民館

講 師 長谷川 徳之輔氏(建設経済研究所常務理事)

参加者 13名

総 括 土地問題の第一人者を迎えての講座であった。毎日のように新聞やテレビで取り上げられている問題だけに、反応が期待できたのであるが、参加者は少な目であった。

ハーブ教室

ハーブの栽培と利用法を学ぶなかで、ハーブの楽しみ方の基礎を学ぶ機会として実施した。

期 間 平成2年6月20日(水)～7月18日(水) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館 材料費 5000円

参加者 22人×5回=110人

講 師 村越 雅代氏(サンファーム)

月 日	内 容
6. 20	グローイングハーブ(栽培・管理論) 土づくり、種まき
27	クッキングハーブ(料理編) ハーブビネガー、ハーブバター
7. 4	ヘルス&ビューティハーブ(健康・美容編) バスポプリ、ソーブ
11	ハーブクラフト(リースづくり) ドライフラワーハーブリース
18	ハーブフレグランス(ポプリ編) ハーブのスリープピロー

総 括 初心者対象にしては土づくりからポプリまでと、たいへん盛りだくさんの内容で参加者も満足していたようである。文化の中でも形を成さない、においというもののまでにもこのように高い関心が集まるようになってきた昨今である。

仏像鑑賞入門講座

近隣には名刹も多く、仏教芸術に親しめる環境にも恵まれている。その中で、仏教芸術の楽しみを深めながら、それらの歴史や文化に興味を深める機会として実施した。

期 間 平成3年2月13日(水)～3月30日(土) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館および東京国立博物館・鎌倉国宝館

参加者 30人×5回=150人

講 師 星山 晋也氏(早稲田大学教授)

月 日	内 容	会 場
2. 13	仏像の分類と特徴	福 祉 会 館
20	飛鳥・天平様式の仏像	公 民 館
3. 1	藤原・鎌倉様式の仏像	
24	仏 像 見 学 会	東京国立博物館
30	〃	鎌 倉 国 宝 館

総括 企画時には参加者がどれだけ集まるか不安であったが、ふたを開けてみるとたいへんな反響ですぐに定員に達し、しかも毎回の欠席者も極端に少なくほぼ満席状態であった。この分野での強い潜在的要求を感じた。

地球発SOS！Ⅱ 汚染時代の子どもたち

地球環境問題が深刻になるなか、放射能汚染を中心に学習することで、現在の生活を見つめ直し、地域のなかで環境問題を考えるきっかけとする。

期 間 平成3年1月21日（月）～3月11日（月） 午前10時～12時 全7回

会 場 公民館本館

参加者 15人×7回＝105人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1. 21	子どもをおそう放射能汚染	放射能とは、放射能汚染食品の影響	松村 真知子氏 （原子力資料 情報室）
1. 28	放射能はこんなに怖い！	映画「世界は恐怖する」をみて	
2. 4	安全！ 輸入される 照射食品	放射能照射と輸入食品	鮎川 ゆりか氏 （原子力資料 情報室）
2. 18	放射能汚染と私たちの生活	放射能汚染を私たちはどうとらえて いけばいいのか	
2. 25	日本・原発はいま	原発とは、その安全性は 日本の原発の状況	松村 真知子氏 （原子力資料 情報室）
3. 4	福島原発のはなし	福島原発の現状	竹村 英明氏 （専門家）
3. 11	まだ、まにあうはず	今、私たちの地域で できることは	

総括 保育室がなかったためか、前回より参加者は少なかった。しかし、話し合いの時間を多くとったことにより、ただ単に「あなたの生活、本当に安全ですか？」という問いか

けの場だけでなく、その問いかけを回りに広げていくことを考える場にもなりえた。

ただ、広げていくということは、まず、夫や子どもを含めた家族に対しての問いかけであり、その場合、女性と男性の価値感の違いがうきぼりにされるという意見でした。

今後の課題として、女性問題だけでなく、南北問題等、幅広く人権という視点で、環境問題を学習のなかで、とらえなおす必要性を強く感じた。

オフセット印刷機操作講習会

公民館ではサークルやPTA、町会などへの援助の一つとして、オフセット印刷機の貸し出しをおこなっているが、利用者の中で、印刷機の操作に精通している人はほとんどいない。

そこで、ミニコミやチラシなどの印刷を独自におこなえるようにするため、講習会を実施した。

日 時	平成2年6月6日(水)	午前の部	午前10時～正午	
		午後の部	午後2時～4時	
		夜間の部	午後7時30分～9時30分	

会 場 公民館

参加者 午前の部 5人 午後の部 2人 夜間の部 6人 計13人

内 容 オフセット印刷機の簡単説明と実技操作、トラブルの処置法

講 師 佐藤 勝貫氏(専門家)

総 括 参加者はそれ程多くないが、その分個人個人の練習に時間がとれ、各自がオフセット印刷機の操作を学んだ。参加者の中には町会などでミニコミを作っている人もおり、学習にも熱が入った。今後、この講習で得たものを地域の活動の中で発揮していった貰えればよい。

木工教室

手作りのあたたかさ、木のぬくもりを大事にした日常生活グッズの製作、今年度はジュエルボックス(宝石箱)に挑戦した。また、木工の基礎的な技術の習得を目指した。

期 間 平成3年1月19日～3月30日 毎週土曜日 午後2時～5時

会 場 公民館本館

参加者 5人×11回=55人

講 師 秋池 俊彦氏(専門家)

月 日	内 容
1. 1 9	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て
2 6	道具の仕立て
2. 2	木取り、自動かんなどで基準面を作る
9	長さ決め、幅決め
1 6	墨 付 け
2 3	加 工
3. 2	〃
9	〃
1 6	加 工、組み立て
2 3	仕 上 げ
3 0	塗 装

総 括 今年は箱ものに挑戦した。箱ものは木工の技術的な習得にはもってこいだが、少々難しかったかもしれない。また、技術的なものとよい道具がそろってこそいい物ができる。日本の伝統的な匠の技を少しでもかじれたような気がする。

女性問題講座準備会

講座のプログラムを市民と共に作り上げることを目的に行った。

期 間 平成2年4月19日（木）～11月10日（土） 全7回

会 場 公民館本館、福祉会館

参加者 8人×7回＝56人

月 日	内 容
4. 1 9	前年度の女性問題講座を振り返り、引き続き学習していきたい内容を出し合う
5. 1 9	今年度の講座でどんな学習をしていきたいかを話し合う
6. 2	〃
9. 2 2	プログラム案をつくる
1 0. 1 3	プログラム案を検討する
2 0	〃
1 1. 1 0	〃

総括 女性問題講座は毎年実施している。これまでの講座参加者及び関心を持つ市民に呼びかけて行った。８ヶ月にわたる長期の準備会であったが、皆熱心なかわりであった。7月、8月が抜けているのは、「公民館のつどい」（7月開催）の準備にたずさわるメンバーが多く準備会をもてなかった事や夏休みに入ってしまったことが原因である。土曜日の午後や平日の夜間に実施した。

また、準備会の一環として「横浜女性フォーラム」の視察を10月27日（土）に行った。

女性問題講座 女のやみなべ 心とからだ かくされた可能性にチャレンジ

女性が苦手としている技術に挑戦し、性別役割分業を問い直した。また、女性がより主体者となっていくために、女性の体のことを学習したり、自己主張トレーニングを行った。

期 間 平成2年12月8日（土）～平成3年3月16日（土） 午後2時～4時

会 場 公民館本館

全10回

参加者 15人×10回＝150人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
12. 8	心とからだの コミュニケーションⅠ	自己紹介、 ストレス解消から瞑想まで	仁 科 きぬ子 （円トレーニング 研究所）
2. 15	コミュニケーションⅡ	コミュニケーション	〃
1. 12	からだをほぐして 護身術	力のいらない、女性のための 護身術	佐々木 元 子 （鍼灸室 そらとびい）
1. 19	もっと知ろうよ 自分のからだ	子宮の模型を作り、女性のからだに ついて考える。	石 橋 初 子 （女性の人体模型 制作者）
1. 26	自動車整備入門	タイヤ交換、チェーンのつけ方、 オイル点検など。	田 村 みな子 （自動車整備士）
2. 9	発見！ わたし自身！	アサーティブトレーニングを通して、 女役割に押し込められている自分を 解き放つ。	岩 井 美代子 （ＣＯカウン セラー）

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
2. 1 6	発見！ わたし自身Ⅱ	アサーティブトレーニングを通して、 女役割に押し込められている自分を 解き放つ。	岩 井 美代子 (COカウン セラー)
3. 2	発見！ わたし自身Ⅲ		
9	発見！ わたし自身Ⅳ		
1 6	21世紀のわたし	講座に参加して。これからの抱負	

総 括 自分を主張し、相手も認めるというコミュニケーションの方法として、円トレーニングやアサーティブトレーニングを知ることができた。参加者のアンケートからも人前で話すことも緊張しなくなったという感想が寄せられた。また、自分の内と外にあるものが違うかもしれないという感想もあり、自分自身を見つめる機会になったと思う。ただ、内容がバラエティに富んでいたなので、参加人数にばらつきがあった。女性問題を引き続き学習していきたいという要望が出された。

公民館本館利用者交流会

次年度予算編成期前に利用者の望む備品や事業内容を聴取し、次年度予算に利用者の声を反映させる機会とし、あわせて利用者相互の交流をはかる機会として実施した。

-期 日 平成2年9月19日(水) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 23人

公民館本館利用者研修会

サークルのかかえる問題の解決と公民館活動への理解のために研修会を実施した。

期 日 平成3年3月13日(水) 午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

テーマ 「サークル活動の楽しさと公民館」

講 師 太田 政男氏(大東文化大学教授)

参加者 18人

PTA講座

PTA無用論が語られている中で、あらためて、PTAの意味を問い直す機会とした。講座の柱は、(1) PTAに関する基礎的知識の獲得、(2) 委員会の活動を考える。(3) 教育を語れるPTAをどう作っていくのか、とした。

期 間 平成2年6月7日(木)～7月5回 午後2時～4時 全5回

会 場 松林分館

参加者 10人×5回=50人

月 日	テ ー マ	講 師
6. 7	PTAとは何にか=学習するPTAへ	前橋弘子氏(全P研)
14	PTAの活動、委員会活動を考える	溝 渕 幸 太 郎 氏 (元PTA会長)
21	" "	
28	学級PTAの活動を考える=教育を語る場に	
7. 5	読まれる広報づくり	前橋弘子氏(全P研)

総 括 近年、PTA無用論が叫ばれているが、今日の教育状況を切り開く力をまだPTAは持っているのではないか、その為にも、教育を語れるPTAが今求められている。参加者が教育を語るPTAの場を模索している様子が、真剣な論議に良くあらわされていた。

PTA広報=読まれる広報づくり

PTA活動を支える大きな活動が広報活動である。しかし、現実には、初めて広報委員になって、編集の基礎的知識を学ぶ機会がないままに、実際上の仕事をやらざるを得ない。一寸した工夫が出来たら、もっと読みやすい広報になる場合が多い。その一寸とした知恵を出すには広報編集の基礎的知識が必要となってくる。実際に手づくり広報を作り、具体的に編集の手順を学ぶ場にした。

期 間 平成2年9月6日(木)～27日 午後2時～4時 全4回

会 場 松林分館

参加者 10人×4回=40人

月 日	テ ー マ	講 師
9. 6	広報の役割－P T A 広報とは何にかー	前橋弘子氏（元全 P 研）
1 3	記事のつくり方、見出しのつけ方	〃
2 0	割つけの仕方、手書き広報をつくる	〃
2 7	手書き広報を作る。合評会	〃

総 括 P T A 広報＝手書き広報＝をそれぞれが実際に作成した。参加者は、自由に思っていることが書けて楽しかったと発言している。現実の広報づくりがさまざまな課題を持っている現状が明確になった。

教育講座 ＝子ども達の生きる場所を求めて＝

準備会の論議を通して、講座の視点として、(1)教育の基盤である家庭、家族のおかれている状況を明らかにし、(2)矛盾が集中的にあらわれる、中学生、中学校の問題を、思春期の問題をふくめて考える中で、子供にとって学校とは何かを考え直す。(3)子どもたちは本当に生きていくために必要な力をつけているだろうか、点数で評価される学力は本ものの学力と呼べるのだろうか。親の持っている学力観をふくめて、学力とは何かを考えたい、(4)子どもが人間らしく生活していく、人間らしく生きるということ、それはとりもおさず子どもの人権をどう保障していくかにかかわっている。子どもの権利条約が国連で採択されているが、その背景と内容を学ぶことの4点を課題としてとりあげた。

期 間 平成3年2月1日（金）～3月29日 午後2時～4時 全7回

会 場 松林分館

参加者 24人×7回＝168人

月 日	テ ー マ	講 師
2. 1	オリエンテーション	担 当 職 員
8	いま、家庭、家族に問われるもの	平湯 紘一氏（母と子編集者）
1 5	いま、子ども達は	林 友三郎氏（教育評論家）
2 2	中 学 生、中 学 校	〃
3. 1	いま、高校の多様化は	白井 慎氏（法 大 教 授）
8	学力ってなんだろう	中内 敏夫氏（一ツ橋大教授）
1 5	話 し 合 い	
2 9	子どもの権利条約を読む	太田 堯氏（日本教育学会々長）

識字学級＝ことばの会

なんらかの理由で、学校へ行けなくて、日本語の読み、書きができなかったり、不十分であった人々が日本語の読み書きを、改めて獲得する場とした。

期 間 平成2年5月7日（月）～平成3年3月18日

会 場 松林分館

参加者 6人×38回＝228人

月 日	テ ー マ	講 師
5. 7	文学作品を読む	高 崎 伊 平 （元小学校長）
1 4	「黒い御飯」 永井龍男著	
2 1	「黒い御飯」	
2 8	「黒い御飯」	
6. 4	「黒い御飯」 新しい参加者名	
1 1	「黒い御飯」 「漢字のなりたち」	
1 8	「黒い御飯」 「八郎」を読む	
2 5	「黒い御飯」 漢字の筆順のきまり	
7. 1	「黒い御飯」 漢字の筆順	
8	「黒い御飯」 「八郎」	

月 日	テ ー マ	講 師
7. 1 5	「黒い御飯」 辞書の引き方	高崎伊平氏 (元小学校長)
2 3	学期のまとめの話し合い	
9. 1 0	「野麦峠」	
1 7	「野麦峠」	
1 0. 1	「野麦峠」	
8	「野麦峠」 新しい人が参加	
1 5	「野麦峠」 「おおきなカブ」	
2 2		
2 9	「私の前にみる鍋とお釜と燃える火と」 石担 りんの詩	
1 1. 5	「私の前にみる鍋とお釜と燃える火と」の解釈、「雨」	
1 2	「私の前にみる鍋とお釜と燃える火と」 「雨」	
1 9	「女工哀史」読み 「三びきのめだか」	
2 6	「女工哀史」 「三びきのめだか」 新しい人が参加	
1 2. 3	「女工哀史」 「がちょうのたんじょうび」	
1 0	「いのちの重さ」 沢地久枝著 「がちょうのたんじょうび」	
1 7	「いのちの重さ」 読み解釈	
1. 7	「いのちの重さ」 読み、解釈	
1 4	「いのちの重さ」 解釈	
2 1	「しっかり母さんとぐうたら息子の人生論」(岩波ブックレット)	
2 8	「しっかり母さんとぐうたら息子の人生論」(")	
2. 5	「しっかり母さんとぐうたら息子の人生論」(")	
1 1	「ナチュラルリスト＝昆虫の四季」 (岩波ブックレット)	
1 8	「ナチュラルリスト＝昆虫の四季」	
2 5	「ナチュラルリスト＝昆虫の四季」	
3. 5	「ほろびゆくブナの森」 (岩波ブックレット)	
1 1	「ほろびゆくブナの森」	
1 8	話 し あ い	

総括 本年度は、途中から3名の参加があった。そのうち2名は日本に来て、それぞれ、10年、5年という在日韓国の人であった。しかし、開講時間と生活時間の調整がつかず、中断している。また、在席3年目の人々にも、それぞれ生活の変化がおとづれた。1つは就職して社会にもどっていった人。また、引越で福生から離れる人等で、全員が顔を合せる機会が少なかった。教材は上級と初級用の二種類を用意した。

市民大学講座＝日本の近代のあゆみ＝

準備会の中で、近代日本の歩みを、(1) 近代日本の歩みを、中国、朝鮮への植民地支配、当時の国際関係の中で日本の位置を明らかにし、(2) 日本の近代化にさまざまな矛盾を起した明治憲法体制、そのもとでの教育制度の関係を明らかにし、(3) 日本資本主義の発展を土地や農村問題(地主制)を通して考えるという視点で講座を組むことになった。

講座を通して、アジアの中で植民地支配も受けず、工業化の発展に成功した一方で、基本的人権や民主主義が十分に育ちきれなかった事実、そして、早くからアジアの植民地支配に手をそめてきた事実をみつめ直していく。政治的近代化の遅れの中にあっても、戦後民主主義につながる歴史を学ぶ機会とした。

期 間 平成2年6月6日(水)～11月7日

会 場 松林分館

参加者 9人×15回＝135人

月 日	テ ー マ	講 師
6. 6	オリエンテーション	川村善二郎氏 (歴史学者)
13	なぜ、なんのために、近代を学ぶのか	
20	「富国強兵」の早期実現をめざして＝明治維新の明と暗	
30	有司専制の打破と立憲体制の樹立を－自由民権運動の展開	
7. 7	草の根民主主義のモニュメント－民衆憲法草案－五日市憲法創造	
11	人間の自由と平等を求めて－民衆運動と部落の人々	
18	天下の政事を直すために－社会不況と困民党の活動	
25	社会不況と困民党の活動 2	

月 日	テ ー マ	講 師
9. 19	日本における「近代国家の成立」－大日本帝国憲法制定	川村善二郎氏 (歴史学者)
26	「新興国」に敗れた「眠れる獅子」－日清戦争と中国分割	
10. 3	日本の資本主義と社会問題－足尾鉍毒事件と社会民主党	
17	「君死にたもうこと勿れ」－日露戦争と非戦論	
24	話 し 合 い	
30	アジアの中の日本・朝鮮・中国－「脱亜入欧」への道	
11. 7	独立国から「保護国」「植民地」へ韓国合併の動き	

松林ひだまりハイキング 「青梅丘陵と吉野梅郷」

早春の青梅丘陵と吉野梅郷。平坦なコースで景色をたのしむハイキングを実施した。

期 日 平成3年3月17日(日)

参加者 11人

指導員 斉藤 美佐子氏 長屋 寿子氏

コース 福生駅 ^{電 車} 青梅駅……………永山公園……………青梅丘陵
……………横 吹……………青梅街道……………青梅市梅の公園
……………即清寺……………二俣尾駅 ^{電 車} 福生駅

総 括 吉野梅郷は予想以上に人出があり歩きずらかったが、梅の公園ではすばらしい
観梅ができた。

松林ホームシアター

主に子供たちの情操を豊かにする内容の映画を上映した。

期 日 平成2年9月30日(日)～平成3年3月3日(日)

会 場 松林分館

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入場者
9. 30	ピッピの宝島	午前10時～ 1回	46人
10. 27	長くつ下のピッピ	午後2時～ 1回	85
11. 25	銀河鉄道777 ミッキーマウスのゆかいな船長さん	午前10時～ 1回	10
12. 23	いたずら天使ミッシェル	午前10時～ 1回	11
2. 24	わんぱくぼうやと魔法のおじさん 第1話、第2話	午前10時～ 1回	12
3. 3	天空の城 ラピュタ	午前9時30分～ 1回	20

シネマフェスティバル For Peace

子供や一般向けに、反戦映画を上映した。

期 日 平成2年8月9日(木) 及び8月12日(日)

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入場者
8. 9	ガラスのうさぎ	午後1時～ 1回	10人
8. 12	象のハナ子 トビウオのぼうやはびょうきです おかあちゃんごめんね	午前10時～ 1回	18

人形劇公演 (松林ホームシアター)

質の高い、生の人形劇を提供し、市民の情操の涵養や市民文化活動発展の一助を目的として実施した。

日 時 平成3年3月24日(日) 午後2時30分～3時15分

会 場 松林分館

内 容 人形劇団 「ひほぼたあむ」による

① 「ばばあちゃんのいそがしい夜」

② 「すえっこねこのルウ」

参加者 70人

松林壁画製作実行委員会

松林分館の利用者で、「10周年の記念になるものを作製したい。」と、昨年からとりかかり、『和と創造の未来』をテーマに、母子像を製作して「だれでもなんでも展」に展示した。

期 間 平成3年4月4日（水）～10月26日（金）

会 場 松林分館

参加者 延べ104人

月 日	内 容
4. 4	平成2年度 第1回実行委員会 製作実習（なべしき作り）
8. 2	第2回実行委員会 作業基準、日程を決める
2 3	第3回実行委員会 作業開始
9. 1	第4回実行委員会 作業基準の追加等
1 3	第5回実行委員会 バックの基準決め
2 6	第6回実行委員会
10. 4	第7回実行委員会 バックの基準変更等
1 3	第8回実行委員会
2 2	タイル張り完成。 メジを入れる。
2 6	額に入れる。
2 7	「だれでもなんでも展」に展示

総 括 母子像は早くできたが、バックの花模様が意外に手まどった。しかし、大勢の協力を得て、「だれでもなんでも展」の展示にまにあうことができた。

だれでもなんでも展 実行委員会

地域に開かれた文化祭をめざし、1）地域の中でこつこつと作品を作っていたり、日常生活の中で行なわれている文化的営みを掘りおこし、そうした活動をしている人々を地域でつなげていく。 2）そういう人をつなげる役割を分館利用者が担っていく。 3）松林でのサークル活動の発表の場として、サークル活動を地域に広げていく。という三つの柱のもとに、利用者交流会が中心になり、実行委員会を結成、準備、実施にあたった。

実行委員会日程

- 8月 2日 第1回実行委員会(委員長決定、実施日、テーマ決定)
- 8月23日 第2回実行委員会(よびかけ文決定、ポスター原案決定)
- 9月 1日 第3回実行委員会(ポスター、チラシの配布、参加状況調べ)
- 9月13日 第4回実行委員会(受付の当番、会場の監視者を決めた)
- 9月26日 第5回実行委員会(演示の順番、時間等を決めた)
- 10月 4日 第6回実行委員会(展示場所を決めた。材料、消耗品等の確認)
- 10月13日 第7回実行委員会(サークルからのメッセージの提出等)
- 10月20日 第8回実行委員会(細部の確認)
- 11月10日 反省会

参加者 延べ104人

今年のテーマ おいで、おいでマイ・ステージ
=新しい出会い なつかしい出会いを求めて=

だれでもなんでも展

開催日 10月27日(土)、10月28日(日)

プログラム

10月27日(土) 午後1時～5時

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 ○映画 「長くつしたのピッピ」

喫茶コーナー

10月28日(日) 午前10時～午後4時30分

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 ○お雛子(鍋二雛子連)

○剣詩舞演示(剣詩舞同好会)

○マジック(アマチュアマジッククラブ)

○コーラス(コーラス虹・コールコスモス)

○新舞踊(白梅会)

○人形劇(サークルわんぱく坊主)

○劇(ファンタスティック)

喫茶コーナー、模擬店コーナー、囲碁コーナー

展示作品 550点（一般 300点、サークル 250点）
 出品者 団体数 一般 45人 団体 14サークル
 参加サークル 22 団体
 延入場者数 1,807人

松林分館利用者交流会

松林分館利用者の交流をはかり、館と利用者、利用者と利用者の交流が豊かに行なえる様に実施した。

第 1 回

日 時 平成2年6月27日（水） 午前10時～12時
 場 所 松林分館
 内 容 ○サークルの情報交換等
 参加者 4サークル 13人

第 2 回

日 時 平成2年7月21日（土） 午前10時～12時
 場 所 松林分館
 内 容 ○公民館運営審議会の報告
 ○壁画製作について
 ○だれでもなんでも展について
 参加者 10サークル 15人

第 3 回

日 時 平成2年12月8日（土） 午前10時～12時
 場 所 松林分館
 内 容 ○壁画完成までの経過報告
 ○公民館運営審議会の報告
 ○保育室のあり方について
 参加者 8サークル 13人

第 4 回

日 時 平成3年2月9日（土） 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 ○公民館運営審議会の報告
○サークルの情報交換

参加者 10サークル 11人

松林分館利用者交流会学習会

公民館とはどういうものか、そのあり方を学習するために行った。

日 時 平成3年3月2日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館

内 容 講 演 「生涯学習振興法と公民館」
講 師 長澤 成治氏 (千葉大学助教授)

参加者 13人

私達のまちづくり

国際化や高齢化が多くの自治体でのトレンドになっているが、本当のまちづくりの主役はだれなのか。そしてそのまちづくりへの計画の段階での参加が難しい今日、各自治体の方向性が混頓としている現状から調和のある発展を目指すためには、市民はどのような力を身につけなければいけないのかを真剣に考えるために企画した。

期 間 平成2年10月3日(水)～11月28日(水) 全8回

会 場 白梅分館

参加者 13人 延べ参加者数80人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
10. 03	オリエンテーション	自己紹介とこの教室の説明他	
17	まちづくりの視点	まちづくりの視点を明らかにする	宮岡一雄氏
24	見えない福生の将来像	都の計画や四全総と福生の将来	宮城真一氏
31	横田基地と住民感情	福生市の将来と横田基地	斉藤 修氏
11. 7	国際化の光と影	デザイナーの目から国際化の本質	真武弘幸氏

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 14	ソフト時代のソフト	ソフトの価値の問題の本質を語る	原 嶋 卓 三 氏
21	今後必要な自然認識	生命観のある公園や自然の創出	宮 岡 一 雄 氏
28	三多摩の人のちから	「カオスからコスモスへ」の担い手	池 上 洋 通 氏

総 括 自分達の住むまちを自分達が研究しよくしようとしなければ、住民のレベル以上のことを行政がしてくれるなんてことはありえないという講師の指摘に、住民相互で話し合っ
て共通理解を持つことが出来た。

三多摩各地で進められている開発（計画）について、特に秋川の菅生付近の開発は福
生にも影響が出そうであるが、今のところ行政範囲を越えて手をつなぎあうような発展
はしなかった。しかし、参加者同士で、お互いの活動に相互協力していこうという話が
進んだ。

自然観察会

身近な自然環境を自らの目で観察し、記録を残すことを通して身近な自然の成立ちと私達の暮
しの関係を学ぶ機会として実施した。

期 間 平成2年6月3日（日）～平成3年3月10日（日） 全10回

会 場 多摩川・市内公園・滝山丘陵

参加者 延べ参加者数 307人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 3	植物観察会	多摩川中央公園内の初夏の植物観察	宮 岡 一 雄 氏
24	水生昆虫観察会	昆虫の観察を通して川の水質を観察	田 中 和 明 氏
9. 8	鳴く虫の観察会	多摩川中央公園内で鳴く虫の観察	栗 原 仁 氏
10. 14	植物観察会	南公園下流の河川敷で秋の植物観察	宮 岡 一 雄 氏
11. 11	自然観察会	滝山丘陵の植物や野鳥などを中心に観察	〃
12. 9	冬鳥の観察会	昭和用水堰の冬鳥を中心に観察	岡 田 紀 夫 氏
2. 17	〃	多摩川に飛来しているカモを観察	岡田紀夫・栗原仁氏
24	〃	多摩川の冬鳥を中心に観察	〃
3. 3	冬芽の観察	冬芽を通して植物の冬越しを観察	宮 岡 一 雄 氏
10	自然観察会	滝山丘陵の植物や野鳥を見て歩く	岡田紀夫・栗原仁氏

総 括 今年是天候に恵まれ、中止ということがなく順調に予定を消化できた。近い将来、福生周辺の「自然観察マップ」のようなものを作り市民の方に利用してもらいたいと思っているので、市民の方々と協力して作成の準備を進めていきたい。

巣箱を作ろう

平成2年7月に、「福生市の鳥＝シジュウカラ」が制定されたが、このシジュウカラが利用する巣箱を作ることを通して、身近な自然に関心が向くように実施した。

期 間 平成3年1月12日（土）～ 平成3年1月26日（土） 全3回

会 場 白梅分館

参加者 8人 延べ参加者数16人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1. 12	巣箱を作ろう	巣箱の概略を知り製作に入る	栗原 仁氏
19	〃	巣 箱 の 製 作	〃
26	餌台にも挑戦	巣箱の他に餌台などの製作	〃

総 括 出来上がった巣箱については番号をつけ、市内各地（公園・個人の庭先など）に設置し、利用状況を追跡調査することにした。

第9回 白梅利用者発表会 実行委員会

(1) 日ごろの公民館活動の成果発表の場 (2) 個々のグループが同一の目標にむかって活動することにより、交流・親睦を深める機会とする。 (3) 公民館活動を地域に広め、熊川地区市民の学習・文化のひろば（祭典）として、平成2年5月末をめどに、実行委員会を組織し、準備をすすめた。 （日時、会場、参加者は以下のとおり）

日 時	内 容	備 考
4月 4日（水）N	演示のひろば打ち合わせ会	10団体 15人
5日（木）N	展示のひろば打ち合わせ会	8団体 12人
12日（木）N	各ひろば企画集約及び広報PRについて	20団体 30人
13日（金）A	語らい・フィナーレ打合せ会	6団体 8人
5月 7日（月）N	最終実行委員会、当日確認・手分け等	25団体 34人

第9回 白梅会館利用者発表会（白梅まつり）

5月26日（土） 1日目 入場者 198人

- 展示のひろば 「パッチワーク、藤細工、生け花、陶芸、ちぎり絵、子ども絵画、
ボード織り、書道、写真、手づくり樽みこし、広告紙利用細工（アン
デルセン）展、グループ活動展」 午前10時～午後5時
- お茶席 午後1時～午後4時
- 親と子のひろば 午後2時～午後4時

5月27日（日） 2日目 入場者 411人

- 展示のひろば 前日同様、「手作りゴキブリ退治だんご販売」
午前10時～正午 完 売
- 語らい茶屋 午前10時～正午
- 演示のひろば 「民謡、民踊、詩吟、コーラス合唱、おはやし、社交ダンス演舞等」
正午～午後3時
- フィナーレのひろば 「その場で楽しめるダンス、民踊、ランバダ風リズム体操、
ゲーム、合唱を屋外庭で！」 午後3時～4時
(来観入場者計 609人)

白梅利用者研修会

白梅会館で定期活動する約55のグループの「学習・文化活動による生活・まちづくり」にむ
け実施。

実施日 平成3年3月11日（月）夜 ： 会場 白梅会館 ： 参加者 12人×1回

3. 11	生涯学習と公民館	小林文人氏（東京学芸大学教授）
-------	----------	-----------------

第10回白梅利用者発表会 実行委員会

（実施日、会場、参加者は以下のとおり）

月 日	内 容	備 考
3. 16（土）N	発表会第10回目の企画について	15団体 16人
3. 24（日）N	演示のひろば打ち合わせ会	10団体 12人
3. 28（木）N	展示のひろば打ち合わせ会	8団体 8人

第10回白梅利用者発表会を平成3年5月18日(土)・19日(日)をめぐりに実行委員会をすすめた。

白梅会館利用者交流会

白梅会館を利用している各種自主グループの相互の交流と、白梅会館利用についての希望・意見などを出し合うために、毎年実施している。

期 間 平成2年8月31日(金)～11月8日(木)

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 44人

日 時	内 容	参 加 者 数
8. 31	公民館運営審議会委員の選出について・利用上の改善希望など	6 人
9. 10	〃	20
11. 8	新公民館運営審議会委員と利用者との交流他	18

総 括 今年の利用者交流会では、公民館運営審議会委員の改選について話題が集中し、熱の入った論議があった。また、周囲の民家の迷惑になるような駐車方法や利用上の問題を、利用者として真剣に論議できた。このような利用上の問題を今後も真剣に話していくことが出来れば、利用者相互の交流が深くなると思われる。

白梅親子映画会

期 間 平成2年6月2日(土)～平成3年3月2日(土) 全7回

会 場 白梅会館2階集会室

参加者 延べ参加者数 176人

日 時	上 映 作 品 名	視 聴 者 数
6. 2	トムソーヤーの冒険	40 人
9. 8	草原のわんぱく騒動・女王蜂の神秘	10
10. 6	ジャングル大帝・かんいりオタマジャクシ・海底2万マイル	23
27	宇宙パート4 宇宙への旅立ち・冬に咲く花はどうなるか他1本	21
12. 1	いたずら天使 ミッシェル	25
2. 9	キャプテン翼	25
3. 2	天空の城「ラピュタ」	32

総 括 今年は自然関係のフィルムを上映して見たが、年齢構成上なかなか理解するのは難しいようだ。回数的にはもう少し増やして上映したほうが良いかも知れないので、次年度は10回位を予定したい。

第9回 公民館のつどい及び実行委員会

公民館を会場として、サークル運営・環境問題・地域課題等のさまざまな問題を市民レベルで、市民が考える場として実施された。

期 間 平成2年5月23日（水）～7月19日（木）

実施日 平成2年7月8日（日）

会 場 公民館および福祉会館

参加者 約300人

月 日	テ ー マ	内 容
5. 23	第1回実行委員会	つどいの趣旨説明、日程と時間帯決定
6. 6	第2回 "	分科会概要決定
7. 2	第3回 "	参加人数の集約と会場の決定
7. 8	公民館のつどい	つどい当日
7. 19	つどいをふりかえる会	反 省 会

7月8日(日)

12時 1時 2時 3時 4時 5時

分科会

会場移動

交流会

あとかたづけ

分科会構成

分科会名	司会	記録	事例発表者	助言者	会場
子どもは私たちの未来、紙おむつから偏差値教育へと	秋山 典子氏	中根 浩 (職員)	岩崎 節子氏	菅原 宣夫氏 (小学校教諭)	第2 集会室
女のつどい「さわらないで そんなこときらい」	石橋 初子氏	黒木まゆ美氏 関根 京子氏		内藤 和美氏 (昭和女子短大)	福祉会館 視聴覚室
どうしたらいいの?教育を 語るPTAにするには	伊藤 則子氏	大塚 京子氏	国近 隆子氏 (5小PTA)	後藤重三郎氏 (国学院大講師)	音楽室
サークルって何	松沢 英二氏	松沢 英二氏			福祉会館 第1集会室
障害者と共に歩む まちづくり	柳 正氏	高橋 邦彦 (職員)	大森 富栄氏 大森 信幸氏		第5集会室
誰でも参加 脱ゴミ地獄 徹底討論	小沢 未里氏	小林 米吉氏		浦島 裕二氏 (日本消費者 連盟ゴミ部会)	第6・7 集会室
4年目のチェルノブイリ	中村 絹江氏	堀尾まさ枝氏		吉沢 弘氏 (チェルノブ イリ救援募金)	第3集会室
福生のまちと くらしを考える	遠藤 洋一氏	遠藤 洋一氏		斉藤 修氏 (都立拝島 高校教諭)	第1集会室
外国人からみた福生	秋山美左江氏		白崎アニー氏 笹本エバリン氏		視聴覚室
高齢者と 公民館のむすびつき	立川 愛雄氏	東 芳行 (職員)			福祉会館 和室

総 括 公民館のつどいも回を重ねるごとに分科会数がふえ、分科会中心の形式が定着してきている。今年度は過去最高の10分科会を数え、それにとまってそれぞれのテーマに関心を持つ市民が新たにつどうようになり、年々交流の輪がひろがりをみせている。

講師派遣事業

この制度は、公民館を利用する社会教育関係団体の活動を援助するため、公民館が予算の範囲内で講師を委嘱し派遣するものである。この制度を受ける事業はすべて公募とし、公開で一般市民が自由に参加できるものとされている。

利用団体 福生市音楽愛好者連絡会・子供たちと自然を守る会・保育サークルありんこ・福生混声コーラス・福生プレーパークの会・保育サークル桃太郎・福生アマチュアマジッククラブ

総 括 「公民館ふっさ」と公民館各館での説明文掲示でこの制度の案内をおこなっているが、年々この制度が公民館利用者の間に知れわたっているようである。

(7) 高齢者

高齢者ワープロ教室

なかなか接する機会のなかったワープロに挑戦し、その基礎を学ぶ。

期 間 平成3年3月13日(水)～3月18日(月) 午後2時～4時 全6回

会 場 公民館本館

参加者 10人×6回=60人

内 容 ハンディタイプのワードプロセッサの基本操作と簡単な文章作成

講 師 進藤 知美氏 他

総 括 今回は講師の他に担当者など職員ができる範囲でアドバイスができるよう努めて来た。しかし、個々の理解度は個人差があり、フォローが難しい。

やじきたハイキング

高齢者の健康づくり、仲間づくりにむけ、以下のように年間隔月実施した。

実 施 期 間	内 容	講 師	参 加 者
4 月 ～ 3 月 隔 月 (全 7 回)	近場の野山・ハイキング コース (バス利用含む)	吉野チエ氏ほか	1 9 0 人

(8) 市制 2 0 周年記念事業

福生『第 九』演奏会

“ふっさの街に音楽を”と市民音楽活動をすすめる音楽団体を軸に、多数の市民参加によるコンサートづくり「平成 3 年 3 月 2 4 日（日）開催」に向け、市民と行政（市民会館・公民館）の創意により、以下のように実施した。

第九演奏会 実行委員会

初の福生「第九」演奏会の企画・実施について、市民と会館職員との合同で実行委員会を開催した。

期 間 平成 2 年 2 月 2 1 日（水）～平成 3 年 5 月 1 1 日 午後 7 時 3 0 分～1 0 時
全 1 6 回

会 場 公民館（集会室）

参加者 2 6 人×1 5 回+3 5 人=4 2 5 人

回	月 日	内 容	備 考
1	H2. 2. 21 水	実行委員紹介、第九とは、今後の準備	郡 司 博 氏
2	3. 28 "	実行組織及び班分け（手分け）	団 員 募 集
3	4. 18 "	当日企画確認、合唱団員募集要項づくり	
4	5. 16 "	演奏ソリスト報告、広報、PRについて	
5	6. 20 "	団員募集具体策、合唱団運営について	
6	7. 18 "	団員応募状況、合唱講習会について	
7	8. 22 "	合唱団役員、パート分け会、結団式	
8	9. 12 "	合唱団運営態勢強化について	団 運 営 ・ 講 習 会
9	10. 17 "	合唱講習会進行状況、本番PR作戦	
10	11. 15 "	チケット販売について、合唱団運営	
11	12. 5 "	当日記念プロ作成、チケット、団運営	
12	H3. 1. 18 "	全進行状況、収録テープ、写真、VTR	
13	2. 27 "	" リハ、当日の段取り	
14	3. 13 "	当日への最終確認、打ち上げについて	
15	4. 10 "	全過程の反省会	反 省 会 及 び
16	5. 11 土	VTR映写、写真・収録テープ配布	事 後 処 理

※実行委員会は第九演奏会の要として活動し、これを契機にして発足した福生「第九」市民合唱団として5月以降活動を開始した。

福生「第九」演奏会合唱講習会

期 間 平成2年9月2日（日）～平成3年3月24日（日）

水曜は午後7時～ 日曜は午後2時～ 全30回

会 場 市民会館・公民館 大・小ホール・集会室、小学校体育館

参加者 200人×15回+180人×15回=5700人

回	月 日	内 容	場 所	回	月 日	内 容	場 所
1	9. 2 日	結団式・練習	小ホール	16	1. 9 水	合 同 練 習	小ホール
2	9 日	合 同 練 習	〃	17	13 日	〃	〃
3	19 水	パート練習	集会3室	18	23 水	〃	〃
4	26 水	合 同 練 習	小ホール	19	27 日	1 日講習会	〃(集会3室)
5	10. 7 日	パート練習	集会3室	20	2. 6 水	合 同 練 習	小ホール
6	14 日	合 同 練 習	小ホール	21	10 日	〃	〃
7	24 水	パート練習	集会3室	22	13 水	〃	第3小学校
8	31 水	合 同 練 習	小ホール	23	20 水	〃	小ホール
9	11.14 水	合 同 練 習	小ホール	24	24 日	〃	〃
10	21 水	パート練習	集会3室	25	3. 6 水	〃	〃
11	25 日	合 同 練 習	小ホール	26	10 日	リハーサル	大ホール
12	12. 2 日	パート練習	集会3室	27	20 水	〃指揮外山氏	〃
13	12 水	合 同 練 習	小ホール	28	23 土	〃	大井町新日フィル
14	19 水	パート練習	集会3室	29	24 午前	ゲネプロ	大ホール
15	23 日	パート練習	〃	30	24 午後	本 番	〃

※7ヵ月間、約30回の練習を経て、180人の市民合唱による初の「第九」演奏会が開催された。

福生「第九」合唱団 運営委員会

今回の第九演奏会は、市民を主人公とした芸術文化の創造活動とする。「第九合唱団は、世代・階層を越えて参加した方々の理想・希望をもとに運営し、合唱を創っていく過程で豊かな人間関係を育て、その交流や学習により、感動ある演奏会を実現すること」を目標に以下のように実施した。

期 間 平成2年8月29日(水)～平成3年2月8日(金)

午後7時～9時30分 全8回

会 場 公民館(本館及び分館)

参加者 30人×7回+28人×1回=238人

回	月	日	内 容
1	8.	29 水	市民合唱団暫定委員会 暫定役員選出及び活動
2	9.	29 土	市民合唱団正式運営委員会とその役割分担について
3	11.	9 金	パート委員、広報委員、企画委員、会計委員決定と活動
4	12.	1 土	合唱団員の状況と各委員会の現状と役割
5		9 日	パート委員会、各パートの出席状況と参加及び仲間づくり
6	12.	23 日	合唱団忘年会（牛1会館にて）
7	1.	30 水	合唱講習会出席確認、チケット販売、収録テープ段取り
8	2.	8 金	以後の各委員会の動き及び本番までの段取り確認

※ このほか、運営委員会の各委員会は随時打ち合わせ会を持ち、・パート委員は各パートの出欠や仲間作り、・広報委員は8回の団ニュース発行、・企画委員は交流や親睦活動の計画実施、・会計は団費、写真、収録テープ受付や配布等、団運営を推進した。

以上、全54回、延6,363人の参加により、別記「20周年記念市民会館主催事業」のようにチケット完売により開催終了した。

尚、以後は隔年で市の主催実施の方向で、間年には福生「第九」市民合唱団の手による開催にむけ活動が進められることとなった。

『寿市民ひろば』

人生80年時代を迎え、①「高齢期を社会の一員（担い手）として元気に生きるまち福生」を目指し、② 高齢期の生活づくり・社会参加にむけて活動する市民グループを軸に、地区福寿会やシルバー人材センター会員はじめ多数の高齢者市民の学習文化活動への参加の機会とし、③ 市行政の教育・福祉両部門の提携により以下のように実施した。

「寿市民ひろば」 実行委員会

「寿市民ひろば」事業活動の企画・実施について、高齢者市民参加及び教育・福祉職員の合同で実行委員会を開催した。

期 間 平成2年4月20日(金)～11月16日(金)

会 場 公民館 ほか

参加者 26人×9回+40人=274人

回	月 日	内 容	備 考
1	4. 20 金	企画準備事項、実行委日程、班・手分け	企画準備段階
2	5. 17 木	各企画内容ツメ、広報・募集要項について	
3	6. 7 木	企画折衝、広報・PR段取り、報告交歓	
4	21 木	誘いかけ・PR、通知発送作業手順、内容確認	
5	7. 5 木	催し開始後のPRや内容展開について	
6	19 木	段取り報告、催し1回目の打ち合わせ	↓
7	8. 16 木	ふれあい会進め方、9月事業の展開について	実 行 段 階
8	9. 13 木	合同活動検討、探訪ふっさ、パネル討論 ETC	
9	10. 4 木	最終「人生歌い語り」、今後の活動継続等	↓
10	11. 16 金	反省親睦“松原・奥多摩路”を訪ねて	バスツアー親睦

※実行委員会は“寿市民ひろば”の要として市民・市職員の提携で企画推進し、特に60才以上の全市民(約7200人)へのお知らせ通知発送作業を市民のグループで実施したことは、今後の活動に大きな期待をもてるものとなった。

合同活動

1 口演「小沢 昭一的ころ」

来場者 700人

7月27日(金)	市民会館	味のある切り口で楽しい語り、	出演
PM1:30～4時	大ホール	小沢昭一のヒューマンな世界・人生	俳優 小沢昭一

Ⅱ 寿講演会

会 場 小ホール

回	月 日	演 題	講 師	参加者
1	8. 10 金 午前10時～正午	地球の自然環境について	宮岡 一雄氏 明 治 大 学 教 授	40
2	8. 24 金 午前10時～正午	高齢者福祉の現状と課題	川 辺 進 氏 元老人ホーム生活指導員	120
3	9. 7 金 午前10時～正午	天気・気象と生活・社会	中 村 次 郎 氏 日本気象協会主任技師	130
4	10. 5 金 午後1:30～ 3:30	(パネルディスカッション) 「高齢期の生活づくり」 家庭・地域・仕事と私達	原田正二氏(元大正大学教授) 宮沢成美氏(東京ボラセンター) 古谷富治氏(市高齢者事業団)	80

Ⅲ 花いっぱい活動

12月14日(金)	中央公園花壇、会館前庭	葉ボタン花文字	参加者 25人
-----------	-------------	---------	---------

Ⅳ 探訪福生わがまち再発見

9. 21 金 午前10時～午後4時	コース：公民館—— 水喰土公園—— 横田基地 新掘橋上水公園—— 清岩院—— 市役所	参加者 80人
-----------------------	---	------------

Ⅴ 人生唄い語りの集い

会 場 小ホール

10. 19 金 午後1:30～4:00	人生を綴る曲のメドレーをはさみ、人生私の意見発表及び市民出演によるアトラクション	来場者 150人
-------------------------	--	-------------

ふれあい語らい会

高齢期の語らい・学習・文化活動を通しての仲間づくりの機会として、自主的な継続的・総合的活動への場づくりとして以下のように実施した。

I 公民館コース

期 間 平成2年8月18日(土)～10月13日 午前10時～正午 全4回

会 場 公民館(本館)

参加者 20人×4回=80人

回	日 時	内 容	備 考
1	8. 18 土	私の人生の歩み、出会い自己紹介	話 し 合 い
2	9. 1 "	花の苗の育て方	石川泰広氏(地元花栽培農家)
3	9. 29 "	身近な同年輩者の様子	民生委員(A班)さんとの交歓
4	10. 13 "	家庭介護入門	福生保健所保健婦

※寿市民ひろば終了後、新たな自主グループとして公民館本館で活動をスタートした。

II 白 梅 コース

期 間 平成2年8月17日(金)～10月12日 午前10時～正午 全4回

会 場 公民館(白梅会館)

参加者 35人×4回=140人

回	月 日	内 容	備 考
1	8. 17 金	出会い自己紹介、私の人生の歩み	話 し 合 い
2	8. 31 "	花の苗の育て方	石川泰広氏(地元花栽培農家)
3	9. 28 "	身近な同年輩者の様子	民生委員(B班)さんとの交歓
4	10. 12 "	家庭介護入門	福生保健所保健婦

※寿市民ひろば終了後、熟年ひろばとして自主活動を継続。

Ⅲ 人生をうたおう会

コーラスと民謡の合唱を通して、心と体の健康にむけ以下のように実施した。

期 間 平成2年6月8日（金）～10月19日 午前10時～正午 全10回

会 場 公民館（白梅会館）

参加者 40人×10回＝400人

回 ・ 月 ・ 日		内 容	備 考
1. 6/8	2. 6/22 金	懐かしい曲、思いでの唄の数々を 楽しく歌い上げる。 ↓	指 導・ピアノ伴奏 山下 やよい氏
3. 7/6	4. 7/20 "		
5. 8/11	6. 8/25 "		
7. 9/8	8. 9/22 土	“唄い語りの集い” 選曲、練習 ↓	
9. 10/6	土		
10.	10. 19 金	人生唄い語りの集い 本番	会場：市民会館（小ホール）

※寿市民ひろば終了後、人生をうたおう会として自主活動を継続。

以上、市制20周年記念事業として、全36回、延2219人の参加を得て終了した。

尚、これを契機に、来年度は更に態勢・コースを充実し実施するものとする。

6. 市民会館主催事業

1. 目 的

会館は、市民の文化・芸術の拠点として、また豊かな人間性をはぐくむ場として、会館のもつ機能、設備を内容面で市民に還元してゆくことを目的としている。

その一環として、市民会館主催事業は、市民によりよい鑑賞の機会を提供し、生活の潤い、いい、また、文化、芸術の創造の契機となるよう行われる。それは、市民が鑑賞者として、“すばらしいもの”を愛する心をいつまでも持ち続け、会館が主催者として、市民の求める“すばらしいもの”を十分に検討し、それに対応するという相互のより高い調和を目的とし、開催する。

2. 目 標

ポップス、落語、寄席、映画等、幅広いジャンルからの企画により、多くの市民の参加を目標としている。

また、主催事業の内容の充実とともに、催しを全市民に周知するよう宣伝活動の徹底をこころがける。

公 演 名	実 施 日	会 場	入 場 料 金	発売人数	出 演 者
アルフレッド・ハウゼン・ゴオーケストラ	平成2年 5月26日 (土)	大ホール	指定 S 5,000円 A 4,000円	899人	アルフレッド・ハウゼン・ゴオーケストラ
ブラザースフォア	平成2年 6月10日(日)	大ホール	指定 2,500円	613	ブラザース フ ォ ア
山形由美フルート コンサート	平成2年 7月8日(日)	大ホール	指定 2,000円	920	山 形 由 美
森高千里コンサート	平成2年 12月15日 (土)	大ホール	指定 3,500円	1,167	森 高 千 里
初笑い福生寄席 立川談志独演会	平成3年 1月20日(日)	大ホール	指定 1,500円	596	立 川 談 志

市民名画劇場

上 映 作 品	上 映 日	上映回数及び入場者
ボリスアカデミー3 全員再訓練	5月26日	午後・夜間 2回 58人
トップガン	7月21日	午後・夜間 2回 193人
俺たちの交響楽	9月29日	午後・夜間 2回 136人
セント・エルモス・ファイヤー	10月27日	午後・夜間 2回 80人
男はつらいよ・寅次郎サラダ記念日	11月10日	午後・夜間 2回 213人
イ マ ジ ン	12月 1日	午後・夜間 2回 145人
バ ッ ト マ ン	1月26日	午後・夜間 2回 142人
夢	3月16日	午後・夜間 2回 246人

いずれも市民会館小ホール

市制20周年記念事業

公 演 名	実 施 日	会 場	入 場 料 金	発売人数	出 演 者
警視庁音楽隊 サマーコンサート	平成2年7月15日(日)	大ホール	無 料	1,096人	牟田 久壽 島田 俊雄 他
松竹大歌舞伎 特別公演	平成2年9月3日(月)	大ホール	指 定 S 3,000円 A 2,000円 B 1,000円	1,120	萬屋錦之助 他
東京都祭ばやし コンクール	平成2年11月25日(日)	大ホール	無 料	1,206	
福生第九演奏会	平成3年3月24日(日)	大ホール	指 定 2,000円	1,128	外山 雄三 他